

英語英文学科専門科目（令和7年度入学生用）

	科目コード	授業コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	教職必修	概要	開放					
英語共通基礎科目（英語コミュニケーション）	20010	20011	基礎英語表現Ⅰ	②	30	1	前期	北山 長貴	○	(英会話と作文) プレイズメント・テストによりクラス分け ※ただし、教職課程受講者は指定のクラスを受講すること。						
	20010	20012	〃					阿部 隆夫								
	20010	20013	〃					太田 裕子								
	20010	20014	〃					小林 亜希								
	20020	20021	基礎英語表現Ⅱ	②	30	1	後期	阿部 隆夫	○							
	20020	20022	〃					タダ アコーリ・マニ								
	20020	20023	〃					( )								
	20020	20024	〃					渡邊真由美								
			発展英語表現Ⅰ	2	30	2	前期	タダ アコーリ・マニ								
			〃													
			発展英語表現Ⅱ	2	30	2	後期	タダ アコーリ・マニ								
			〃													
	20110	20111	英会話Ⅰ（火曜Ⅰ限）	②	30	1	前期	タダ アコーリ・マニ				3クラス プレイズメント・テストによりクラス分け				
	20110	20112	〃（火曜Ⅳ限）													
20110	20113	〃（木曜Ⅴ限）														
20120	20121	英会話Ⅱ（月曜Ⅲ限）	②	30	1	後期	タダ アコーリ・マニ		3クラス プレイズメント・テストによりクラス分け							
20120	20122	〃（火曜Ⅳ限）														
20120	20123	〃（金曜Ⅰ限）														
20210		リーディングⅠ	2	30	1・2	前期	渡邊真由美									
20220		リーディングⅡ					④		太田 裕子							
20230		リーディングⅢ							後期	三枝 和彦						
20240		リーディングⅣ							後期	今井コレット						
20310		ライティングⅠ	2	30	1	後期		三枝 和彦								
		ライティングⅡ					2			30	2	前期	三枝 和彦			
20410		リスニングⅠ	2	30	1	後期	阿部 隆夫									
		リスニングⅡ					④		2	30	2	後期	太田 裕子			
20461		TOEICリスニングⅠ							2	30	1	前期	北山 長貴			
		TOEICリスニングⅡ							2	30	2	前期	今井コレット			
20510		英文法Ⅰ	2	30	1・2	前期		松井 真人	○							
20520		英文法Ⅱ					2	30		1・2	後期	阿部 隆夫				
20610		時事英語	2	30	1・2	前期	渡邊真由美			外国						
英語文学科目	20710		イギリス文学史	2	30	1・2	前期	小林 亜希	○	後期開講（2～3月）	教養 教養 教養					
	20720		アメリカ文学史					2				30	1・2	前期	渡邊真由美	
	20730		イギリス文学作品研究					④				2	30	1・2	後期	小林 亜希
	20740		アメリカ文学作品研究									2	30	1・2	後期	渡邊真由美
	20750		英米児童文学作品研究									2	30	1・2	集中	相田 明子
	20760		英米文学講読									2	30	1・2	後期	小林 亜希
英語学科目	21210		英語学入門Ⅰ	2	30	1・2	前期		松井 真人	○		教養 教養 教養				
	21220		英語学入門Ⅱ						②				2	30	1・2	後期
	21230		英語学入門Ⅲ					2					30	1・2	後期	北山 長貴
			英語学講読					2					30	2	前期	北山 長貴
文化コミュニケーション	21320		英米文化論	2	30	1・2	前期	小林 亜希		○	[日]「外国史2」で読替	教養 教養 教養 教養				
	21330		西洋史					2	30				1・2	前期	鍵和田 賢	
	21340		日本文化論					2	30				1・2	後期	阿部 哲人	
	21351		異文化理解					2	30				1・2	前期	阿部 隆夫	
	21370		異文化コミュニケーション					2	30				1・2	前期	阿部 隆夫	
基礎演習	20810		英米文学基礎演習Ⅰ	2	30	1	後期	小林 亜希								
	20820		英米文学基礎演習Ⅱ					2		30	1	後期	渡邊真由美			
	21010		英語学基礎演習Ⅰ					②		2	30	1	後期	北山 長貴		
	21020		英語学基礎演習Ⅱ							2	30	1	後期	松井 真人		
	21380		異文化理解基礎演習							2	30	1	後期	畑田 秀将		
	21381		異文化コミュニケーション基礎演習							2	30	1	後期	阿部 隆夫		
	21382		英語コミュニケーション基礎演習							2	30	1	後期	タダ アコーリ・マニ		
演習			英米文学演習Ⅰ	4	60	2	通年		小林 亜希							
			英米文学演習Ⅱ						4		60	2	通年	渡邊真由美		
			英語学演習Ⅰ					④	4		60	2	通年	北山 長貴		
			英語学演習Ⅱ						4		60	2	通年	松井 真人		
			異文化理解演習						4		60	2	通年	畑田 秀将		
			異文化コミュニケーション演習						4		60	2	通年	阿部 隆夫		
			英語コミュニケーション演習						4		60	2	通年	タダ アコーリ・マニ		
		卒業研究	4		2											

(注)・「○数字」は必修単位数、「」○数字」は選択必修単位数  
 ・「授業コード」がある場合、同じ科目名の授業の中から1つのみ選択できる  
 ・教職科目については、教職必修欄の科目を履修することで条件を満たす

英語英文学科専門科目（令和6年度入学生用）

	科目 コード	授業 コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	教職 必修	概要	開放
英語共通基礎科目 （英語コミュニケーション）			基礎英語表現Ⅰ 〃 〃 〃	②	30	1	前期	北山 長貴 阿部 隆夫 太田 裕子 小林 亜希	○	(英会話と作文) プレイズメント・テストによりクラス分け  ※ただし、教職課程受講者は指定のクラスを受講すること。	
			基礎英語表現Ⅱ 〃 〃 〃	②	30	1	後期	阿部 隆夫 阿部 隆夫 阿部 隆夫 渡邊真由美	○		
	20030	20031	発展英語表現Ⅰ	2	30	2	前期	阿部 隆夫			
	20030	20032	〃								
	20030	20033	〃								
	20040	20041	発展英語表現Ⅱ	2	30	2	後期	阿部 隆夫			
	20040	20042	〃								
			英会話Ⅰ（火曜Ⅰ限） 〃（火曜Ⅳ限） 〃（木曜Ⅴ限）	②	30	1	前期	阿部 隆夫		3クラス プレイズメント・テストによりクラス分け	
			英会話Ⅱ（月曜Ⅲ限） 〃（火曜Ⅳ限） 〃（金曜Ⅰ限）	②	30	1	後期	阿部 隆夫		3クラス プレイズメント・テストによりクラス分け	
	20210		リーディングⅠ	2	30	1・2	前期	渡邊真由美			
	20220		リーディングⅡ	2	30	1・2	前期	太田 裕子			
	20230		リーディングⅢ	2	30	1・2	後期	三枝 和彦			
	20240		リーディングⅣ	2	30	1・2	後期	今井コレット			
			ライティングⅠ ライティングⅡ	2 2	30 30	1 2	後期 前期	三枝 和彦 三枝 和彦			
20420		リスニングⅠ リスニングⅡ	2 2	30 30	1 2	後期 後期	阿部 隆夫 太田 裕子				
20462		TOEICリスニングⅠ TOEICリスニングⅡ	2 2	30 30	1 2	前期 前期	北山 長貴 今井コレット				
20510		英文法Ⅰ	2	30	1・2	前期	松井 真人	○			
20520		英文法Ⅱ	2	30	1・2	後期	阿部 隆夫				
20610		時事英語	2	30	1・2	前期	渡邊真由美			外国	
英語文学科目	20710		イギリス文学史	2	30	1・2	前期	小林 亜希	○	後期開講（2～3月）	教養
	20720		アメリカ文学史	2	30	1・2	前期	渡邊真由美	○		教養
	20730		イギリス文学作品研究	2	30	1・2	後期	小林 亜希			教養
	20740		アメリカ文学作品研究	2	30	1・2	後期	渡邊真由美			
	20750		英米児童文学作品研究	2	30	1・2	集中	相田 明子			教養
	20760		英米文学講読	2	30	1・2	後期	小林 亜希			外国
英語学科目	21210		英語学入門Ⅰ	2	30	1・2	前期	松井 真人	○		教養
	21220		英語学入門Ⅱ	2	30	1・2	後期	松井 真人	○		教養
	21230		英語学入門Ⅲ	2	30	1・2	後期	北山 長貴	○		教養
	21240		英語学講読	2	30	2	前期	北山 長貴			
文化 と コミュニケーション	21320		英米文化論	2	30	1・2	前期	小林 亜希	○	[日]「外国史2」で読替	教養
	21330		西洋史	2	30	1・2	前期	鍵和田 賢			教養
	21340		日本文化論	2	30	1・2	後期	阿部 哲人			教養
	21351		異文化理解	2	30	1・2	前期	阿部 隆夫			教養
	21370		異文化コミュニケーション	2	30	1・2	前期	阿部 隆夫			教養
基礎演習			英米文学基礎演習Ⅰ	2	30	1	後期	小林 亜希			
			英米文学基礎演習Ⅱ	2	30	1	後期	渡邊真由美			
			英語学基礎演習Ⅰ	2	30	1	後期	北山 長貴			
			英語学基礎演習Ⅱ	2	30	1	後期	松井 真人			
			異文化理解基礎演習	2	30	1	後期	畑田 秀将			
			異文化コミュニケーション基礎演習	2	30	1	後期	阿部 隆夫			
			英語コミュニケーション基礎演習	2	30	1	後期	阿部 隆夫			
演習	20910		英米文学演習Ⅰ	4	60	2	通年	小林 亜希			
	20920		英米文学演習Ⅱ	4	60	2	通年	渡邊真由美			
	21110		英語学演習Ⅰ	4	60	2	通年	北山 長貴			
	21120		英語学演習Ⅱ	4	60	2	通年	松井 真人			
	21390		異文化理解演習	4	60	2	通年	畑田 秀将			
	21391		異文化コミュニケーション演習	4	60	2	通年	阿部 隆夫			
	21392		英語コミュニケーション演習	4	60	2	通年	阿部 隆夫			
	21410		卒業研究	4		2					

(注)・「○数字」は必修単位数、「}○数字」は選択必修単位数  
 ・「授業コード」がある場合、同じ科目名の授業の中から1つのみ選択できる  
 ・教職科目については、教職必修欄の科目を履修することで条件を満たす

講義科目名称： 基礎英語表現 I (20010)

授業コード： 20011

英文科目名称： Basic English Composition 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択必修
担当教員			
北山 長貴			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な英語表現の復習と理解をテーマとします。</li> <li>・ 基本英文法とコロケーションや句動詞(Phrasal verb)など英語特有の表現が理解できるようになります。</li> <li>・ 総合的な英語運用能力を高めることを目標とします。</li> <li>・ 授業で扱った身近な話題について文章を書くことができるようになります。</li> </ul>		
授業計画	第1回		
	タイトル	オリエンテーション	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Unit 1, 2 文型	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	Unit 3, 4 名詞、冠詞	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	Unit 5, 6 代名詞	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	Unit 7, 8 未来形、進行形	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	Unit 9, 10 完了形、助動詞	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	Unit 11, 12 態	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	Unit 13, 14 不定詞	
	フリー欄		
第9回			
タイトル	Unit 15, 16 分詞		
フリー欄			
第10回			
タイトル	Unit 17, 18 動名詞		
フリー欄			
第11回			
タイトル	Unit 19, 20 比較		
フリー欄			
第12回			
タイトル	Unit 21, 22 前置詞		
フリー欄			

	第13回
	タイトル Unit 23, 24 関係詞
	フリー欄
	第14回
	タイトル Unit 25, 26 仮定法
	フリー欄
	第15回
	タイトル 限定詞、句動詞、コロケーションについて
	フリー欄
授業概要	・授業計画にある英文法とその練習問題を演習します。
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	・翌週の学習内容の範囲を指定するので、予習ノートを作り、内容を理解して下さい。 ・授業中にわからなかった語句の意味を調べて下さい。
テキスト	“New English Master” 福井慶一郎、他著（成美堂）1900円（本体価格） 【初回授業時に購入方法を説明します】
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	・学生の興味を引くように身近な事例を多く取り入れながら講義を進めたい。 ・授業で伝えたいことや修得して欲しいことを明確に伝えていきたい。 ・予習を必ずしてきてください。ノートを1冊用意してください。
評価方法	・出席を毎回とります。 ・レポート（20%）、筆記試験（80%）
参考文献	
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択必修
担当教員			
阿部 隆夫			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	様々な分野の情報について読み取りと聞き取りを行い、目的に応じてその情報の内容を理解することができる。さらには、会話とスピーチと文章作成を統合した言語活動が行えること。CEFR-B2越を目標にする。		
授業計画	第1回		
	タイトル		
	フリー欄	授業の進め方、評価方法の説明の後、personal information (職業や年齢)の場面設定に適する英語の総合コミュニケーション言語練習 (下線部は第2回目以降も同様のため、以下省略)。また以後、異文化間コミュニケーションの事例研究 (副教材、偶数回) と進化するESL教育アプローチの練習 (奇数回) をする。	
	第2回		
	タイトル		
	フリー欄	personal information (趣味・習慣) の場面設定に適する言語練習、および副教材事例7	
	第3回		
	タイトル		
	フリー欄	shopping (値段と割引) の場面設定に適する言語練習	
	第4回		
	タイトル		
	フリー欄	shopping (値引き交渉) の場面設定に適する言語練習、副教材事例8	
	第5回		
	タイトル		
	フリー欄	restaurants (メニューと注文) の場面設定に適する言語練習	
	第6回		
	タイトル		
	フリー欄	restaurants (心づけ) の場面設定に適する言語練習、副教材事例 9	
	第7回		
	タイトル		
	フリー欄	humour (ユーモアと冗談) の場面設定に適する言語練習	
	第8回		
タイトル			
フリー欄	humour (困った瞬間の対処) の場面設定に適する言語練習、副教材事例10		
第9回			
タイトル			
フリー欄	sports (スポーツ観戦を語る、オリンピック) の場面設定に適する言語練習		
第10回			
タイトル			
フリー欄	sports (娯楽を語る) の場面設定に適する言語練習、副教材事例11		
第11回			
タイトル			
フリー欄	future (未来の計画) の場面設定に適する言語練習		

	第12回	
	タイトル	
	フリー欄	future (決めたこと、提案) の場面設定に適する言語練習、副教材事例12
	第13回	
	タイトル	
	フリー欄	men and women, etc. (ステレオタイプ) の場面設定に適する言語練習
	第14回	
	タイトル	
	フリー欄	men and women (統計と割合) の場面設定に適する言語練習、副教材事例13、暗唱スピーチ小試験
	第15回	
	タイトル	
	フリー欄	obligation and advice (警告と助言) の場面設定に適する言語練習、グループディスカッションの小試験
授業概要	<p>日常に不可欠な英語表現を実生活の場面設定の中で学ぶ。聞き、読み、書き、話すといった基本言語4技能の最新訓練法とそれらすべてを統合した異文化間コミュニケーションの事例を学ぶ。授業の大半は国際社会に対応した学校教育に必要な英語でのコミュニケーション方式で行い、音声や文字情報を理解するだけでなく、自らの考えを人前で話し、あるいはスピーチ原稿にまとめる作業をする。英語圏に特化した異文化間コミュニケーションの分析を通じて20世紀方式の和訳英訳レベルを越えた英語話者本来のコミュニケーション思考に近づく練習をする。</p>	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	音声データを使って本文を正確に音読する予習が必要です。	
テキスト	(主) Christina Latham-Koenig, English File: Upper-intermediate (Oxford UP, 2020); (副)阿部隆夫・他著『42の事例から考える異文化間英語コミュニケーション』(開拓社、2020年)	
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	各自の予習時に理解できなかった箇所に関しては日本語で最初に説明を受ける。その上で、平易な英語表現での指導の下、各練習にのぞむ。	
評価方法	隔回の異文化間コミュニケーションの事例提出課題50%、スピーチ小試験25%、グループディスカッション小試験25%	
参考文献		
備考		

講義科目名称： 基礎英語表現 I (20010)

授業コード： 20013

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択必修
担当教員			
太田 裕子			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	体内時計や脳に効く食事、危険なSNS 投稿や歩きスマホ、ボランティア活動の魅力など、身近な話題をもとに、英語で読み、聞き、発信する力を養います。		
授業計画	第1回		
	タイトル	オリエンテーション	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Unit 1 Were You Texting While Walking?	
	フリー欄	頻度を表す副詞と数量を表す表現/パラグラフの構造①	
	第3回		
	タイトル	Unit 2 Do You Work Part-time?	
	フリー欄	動詞+to不定詞 (to do) / 動名詞 (-ing) / パラグラフの構造② 支持文	
	第4回		
	タイトル	Unit 3 He Has a Great Smile, and He's Rich!	
	フリー欄	見た目や性格を表す形容詞/パラグラフの構造③ 結論文	
	第5回		
	タイトル	Unit 4 Did You Enjoy Playing Basketball?	
	フリー欄	be動詞・一般動詞の過去形/2つの語・句・節をつなぐ接続詞 (and/but)	
	第6回		
	タイトル	Unit 5 Manners: Be a Good Guest!	
	フリー欄	現在進行形と過去進行形 (be -ing) / 文の構成：主語と動詞、形式主語	
	第7回		
	タイトル	Unit 6 Call Me When You Get There	
フリー欄	命令形/2つの事柄を並べて説明する (one is ~, the other is ~)		
第8回			
タイトル	Unit 7 Dogs Are So Much Better		
フリー欄	比較級と最上級/文頭で内容を展開する副詞 (Therefore/However)		
第9回			
タイトル	Unit 8 You Could Have Pool Parties!		
フリー欄	存在や所有を表す表現 (There is/are, has/have) / 理由と結果をつなぐ接続詞 (because/so)		
第10回			
タイトル	Unit 9 We Are Going on a Cruise!		
フリー欄	未来を表す表現 (be going to / will / be -ing) / コンマ (, ) の使い方①/大文字の使い方		

	第11回
タイトル	Unit 10 Have You Ever Volunteered Before?
フリー欄	現在完了形の4つの用法/コンマ(,)の使い方②
	第12回
タイトル	Unit 11 Think Before You Post!
フリー欄	提案や義務を表す助動詞(had better/should, must/have to) /例を挙げて主題を展開する(for example)
	第13回
タイトル	Unit 12 You Lied to Her!
フリー欄	Wh疑問文と間接疑問文/Eメールの構成
	第14回
タイトル	Unit13 Are You Sleeping Well?
フリー欄	数えられる名詞と数えられない名詞/パラグラフ構造④論理展開
	第15回
タイトル	Unit14 Why Do you Want to Work Here?
フリー欄	Yes/No疑問文、Which疑問文、Wh疑問文/文書の書式設定
	第16回
タイトル	試験
フリー欄	
授業概要	インプットからアウトプットの流れで授業を進めます。リスニングやリーディングを通したインプットから、アウトプットとして音声が続いてのリピーティングや会話のペアワークなどの声に出させるタスクやUnitのテーマに沿ったライティングに取り組みます。
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	ライティングの仕上げをする。また、自分のライティングを流暢に読めるように練習する。
テキスト	English Beams: Essential Skills for Talking and Writing さわらびで購入可能 大学生のための発信型総合英語演習 金星堂 ¥1,980(税込) 表谷純子 / 川崎真理子 / Ayed Hasian / Paul Aaloe 著 978-4-7647-4018-1
受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)	アカデミックライティングではなく日常的な話題に関して自分のことを英語で表現できるようにすることを目指します。ただ、あまり砕けた口語表現は避けるようにしましょう。記入用紙にある評価の基準を参考にして作成しましょう。
評価方法	授業参加50点(アクティビティへの参加、授業回数の2/3以上の出席、欠席1回6点減点)、提出物(50点)
参考文献	
備考	辞書を持ってきましょう。(サイレントモードに設定の上、スマホの辞書可。)生成AIを利用する場合は自力で作成したものを添削するようにしましょう。

講義科目名称： 基礎英語表現 I (20010)

授業コード： 20014

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択必修・教職必修
担当教員			
小林 亜希			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	1. 様々なジャンルや話題の英語を聞いて、目的に応じて情報や考えなどを理解することができる。 2. 様々なジャンルや話題の英語を読んで、目的に応じて情報や考えなどを理解することができる。 3. 様々な話題について、目的や場面、状況等に応じて英語で話すことができる。 4. 様々な話題について、目的や場面、状況等に応じて英語で書くことができる。 5. 以上の4技能に基づいて、複数の領域を統合した言語活動を遂行することができる。		
授業計画	第1回		
	タイトル	授業ガイダンス	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	英文法の基礎①—一品詞、五文型	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	英文法の基礎②—準動詞（動名詞、不定詞、分詞形容詞、分詞構文）	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	TOEICについて／英語プレゼンテーションの練習①	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	1 基本文型 Shopping (L) / 2 名詞の修飾 At a Restaurant (R)	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	3 文と文の接続 Employment (L) / 4 進行形と受動態 Communication (R)	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	5 知覚動詞と使役動詞 Transportation (L) / 6 助動詞 Entertainment (R)	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	7 その他の助動詞と「助動詞＋完了形」 Negotiating (L) / 8 時制 (現在・過去・未来) Giving a Presentation (R)	
	フリー欄		
	第9回		
	タイトル	9 現在完了形 Accommodation (L) / 10 前置詞 Public Facilities (R)	
	フリー欄		
	第10回		
	タイトル	英語プレゼンテーションの練習② / 小テスト①	
	フリー欄		
	第11回		
	タイトル	11 不定詞 Appointments (L) / 12 仮定法過去 Meetings (R)	
	フリー欄		

	第12回
タイトル	13 仮定法過去完了 On the Street (L) / 14 動名詞と分詞構文 Vacation (R)
フリー欄	
	第13回
タイトル	15 関係代名詞 Business Performances (L) / 16 関係副詞 Handling Customer Complaints (R)
フリー欄	
	第14回
タイトル	17 比較 Environment (L) / 18 名詞と冠詞 Housing (R)
フリー欄	
	第15回
タイトル	19 数と量 Advertising (L) / 20 強調構文と倒置 At a Factory (R) ※小テスト②
フリー欄	
授業概要	①教科書の問題を解くことによって、基本的な語彙と文法を習得し、リーディングの基礎を涵養します。 ②毎時間、担当者を決めて簡略なプレゼンテーションを英語で作成し、発表してもらいます。その後、担当者と受講者の間で簡単な質疑応答を英語で行います。 ③教科書の問題を利用してリスニングの練習をします。 ④教科書を利用して資格試験TOEICに関する基礎的な知識を身に着けます。
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	・教科書の問題を予習して授業に臨むこと。 ・わからない単語は予め辞書で調べておくこと。
テキスト	Noboru Matsuoka/Kazuo Sobajima 『START WITH GTAMMAR REVIEW FOR THE TOEIC L&R TEST/文法復習型TOEIC L&R Test対策』（松柏社）2,310円 大学内の購買部で購入できます。
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	・辞書を引き、丁寧に予習してください。 ・適宜課題を出しますので、提出してください。 ・質問はリアクション・ペーパーでも対応しますが、個別に質問したいときはkobayashi-a@yone.ac.jpまで問い合わせてください。 ・資料配布等のためにTeamsを利用することがあります。チーム「基礎英語表現 I（小林）」に参加してください。
評価方法	授業での発表・課題（50%）、小テスト（50%） 授業の3分の2以上の出席が条件です。
参考文献	参考資料（ハンドアウト）を適宜配布します。
備考	

講義科目名称： 基礎英語表現Ⅱ（20020）

授業コード： 20021

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択必修
担当教員			
阿部 隆夫			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	様々な話題について目的、場面、状況に応じて話したり書いたりすることができ、言語活動の複数の領域を統合した活動を行うこと、CEFR-B2以上を目標にする		
授業計画	第1回		
	タイトル		
	フリー欄	Starting conversations 天候の会話、情報を聞き出す（コミュニケーション、以下同様）	
	第2回		
	タイトル		
	フリー欄	Starting conversations 会話の継続（のコミュニケーション、以下同様）	
	第3回		
	タイトル		
	フリー欄	If ... (subjunctives) 叙想法の表現、可能性の表現	
	第4回		
	タイトル		
	フリー欄	If ... (subjunctives) 結果を述べる	
	第5回		
	タイトル		
	フリー欄	Health 健康に関する会話、健康のためのアドバイス	
	第6回		
	タイトル		
	フリー欄	Health 体の部位、治療法	
	第7回		
	タイトル		
	フリー欄	People 関係代名詞、服装を描写する	
	第8回		
	タイトル		
	フリー欄	People 推量の助動詞、仕事、役割を語る	
第9回			
タイトル			
フリー欄	Changes 過去をさかのぼって語る、勤続〇十年を語る		
第10回			
タイトル			
フリー欄	Changes 会社の中の事務機器の変化、生活の変遷		
第11回			
タイトル			
フリー欄	On holiday 動詞の-ing形と-ed形の使い分け、休暇について語る		
第12回			
タイトル			
フリー欄	On holiday 不定代名詞や動詞の原形を使う表現、謝罪、ホテルでの問題処理		

	第13回	
	タイトル	
	フリー欄	Stories 過去完了、物語の語り聞かせ
	第14回	
	タイトル	
	フリー欄	Stories 過去時制と過去完了の区別、逸話を語る
	第15回	
	タイトル	
	フリー欄	The news 受動態 新聞の見出し、ニュースのヘッドラインの話し方
授業概要	日常に不可欠な英語表現を実生活の場面設定の中で学ぶ。言語習得の最新訓練法と異文化間コミュニケーション事例を学ぶ。状況を軸にした会話応用練習で総合コミュニケーション能力を向上させる。各回の初めに文字を使わない外国語指導方法の実践例や、社会言語学に基づいたコミュニケーション事例分析を紹介する	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	音声データを使って本文を正確に音読する練習が必要です。	
テキスト	(主) Christina Latham-Koenig, English File: Upper-intermediate (Oxford UP, 2020); (副)阿部隆夫・他著『42の事例から考える異文化間英語コミュニケーション』(開拓社、2020年)	
受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)	各自の予習時に理解できなかった箇所に関しては日本語で最初に説明を受ける。その上で、平易な英語表現での指導の下、各練習にのぞむ。	
評価方法	平常の発表課題 (30%)、提出課題 (50%) と試験 (20%)	
参考文献		
備考		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択必修・教職必修
担当教員			
タヴァコーリ, マーニ			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	体内時計や脳に効く食事、危険なSNS 投稿や歩きスマホ、ボランティア活動の魅力など、身近な話題をもとに、英語で読み、聞き、発信する力を養います。		
授業計画	第1回		
	タイトル	オリエンテーション	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Unit 1 Were You Texting While Walking	
	フリー欄	頻度を表す副詞と数量を表す表現/?パラグラフの構造①	
	第3回		
	タイトル	Unit 2 Do You Work Part-time?	
	フリー欄	動詞+to不定詞 (to do) /動名詞 (-ing) /パラグラフの構造② 支持文	
	第4回		
	タイトル	Unit 3 He Has a Great Smile, and He' s Rich!	
	フリー欄	見た目や性格を表す形容詞/パラグラフの構造③ 結論文	
	第5回		
	タイトル	Unit 4 Did You Enjoy Playing Basketball?	
	フリー欄	be動詞・一般動詞の過去形/2つの語・句・節をつなぐ接続詞 (and/but)	
	第6回		
	タイトル	Unit 5 Manners: Be a Good Guest!	
	フリー欄	現在進行形と過去進行形 (be -ing) /文の構成：主語と動詞、形式主語	
	第7回		
	タイトル	Unit 6 Call Me When You Get There	
	フリー欄	命令形/2つの事柄を並べて説明する (one is ~, the other is ~)	
	第8回		
	タイトル	Unit 7 Dogs Are So Much Better	
	フリー欄	比較級と最上級/文頭で内容を展開する副詞 (Therefore/However)	
第9回			
タイトル	Unit 8 You Could Have Pool Parties!		
フリー欄	存在や所有を表す表現 (There is/are, has/have) /理由と結果をつなぐ接続詞 (because/so)		
第10回			
タイトル	Unit 9 We Are Going on a Cruise!		
フリー欄	未来を表す表現 (be going to / will / be -ing) /コンマ (, ) の使い方①/大文字の使い方		
第11回			
タイトル	Unit 10 Have You Ever Volunteered Before?		
フリー欄	現在完了形の4つの用法/コンマ (, ) の使い方②		
第12回			
タイトル	Unit 11 Think Before You Post!		
フリー欄	提案や義務を表す助動詞 (had better/should, must/have to) /例を挙げ		

		て主題を展開する (for example)
	第13回	
	タイトル	Unit 12 You Lied to Her!
	フリー欄	Wh疑問文と間接疑問文/Eメールの構成
	第14回	
	タイトル	習熟度の確認
	フリー欄	
	第15回	
	タイトル	習熟度の確認
	フリー欄	
授業概要	インプットからアウトプットの流れで授業を進めます。リスニングやリーディングを通したインプットから、アウトプットとして音声が続いてのリピーティングや会話のペアワークなどの声に出させるタスクやUnitのテーマに沿ったライティングに取り組みます。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	ライティングの仕上げをする。また、自分のライティングを流暢に読めるように練習する。	
テキスト	English Beams: Essential Skills for Talking and Writing 大学生のための発信型総合英語演習 金星堂 表谷純子 / 川崎真理子 / Ayed Hasian / Paul Aaloe 著 978-4-7647-4018-1	
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	辞書を持ってきましょう。(サイレントモードに設定の上、スマホの辞書可。)	
評価方法	授業参加50点 (アクティビティへの参加) 、提出物 (50点)	
参考文献		
備考		

講義科目名称： 基礎英語表現Ⅱ（20020）

授業コード： 20023

英文科目名称： 一

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択必修
担当教員			
未定			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	身近な事柄について平易な英語で話したり、書いたりすることができること。		
授業計画	第1回		
	タイトル	オリエンテーション	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Overcoming Disasters 英語の主語の種類	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	Going Digital There is 構文	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	Judging Others 動詞（1）自動詞と他動詞	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	Ping-pong Hero 動詞（2）文型	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	Marry Me, Robot look, appear, seem, smell, taste, feel	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	Remember Not to Forget! 動詞＋動名詞／動詞＋to不定詞	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	Alienated on Earth 形容詞の文型	
	フリー欄		
	第9回		
	タイトル	Daylight Savings 疑問文とその語順	
フリー欄			
第10回			
タイトル	Society Service 助動詞（1）		
フリー欄			
第11回			
タイトル	The First Lady 助動詞（2）		
フリー欄			
第12回			
タイトル	Homesick for Earth 進行形／状態動詞と動作動詞		
フリー欄			
第13回			

	タイトル	‘Anime’ is English! 完了形
	フリー欄	
	第14回	
	タイトル	各自が選んだテーマについて英語でスピーチをする。(第1グループ)
	フリー欄	
	第15回	
	タイトル	各自が選んだテーマについて英語でスピーチをする。(第2グループ)
	フリー欄	
授業概要	毎回、受講者は身近な事柄について英語で30秒程度のスピーチを行い、担当教員からの質問に英語で答える。その後、テキストに沿って、英文読解、英文法、英作文の学習を行う。最後の2回の授業では英語で2分から3分程度のスピーチを行い、話した内容を英文エッセイにまとめて後日提出する。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	予習として、英語スピーチの内容をよく考えておくこと。また、次の授業で学習する範囲の練習問題を解き、英作文を書いてみること。	
テキスト	奥田隆一・Anthony Allan (著) 『Writing Points!: Basic Grammar for Better Writing』 金星堂 2,090円 (税込) ISBN: 978-4-7647-3939-0	
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	授業でスピーチをする時には、難しい英語を使う必要はない。易しい英語でよいので、語法や文法に気をつけて、しっかり準備して話してほしい。受講生の英作文はできるだけ丁寧に添削したい。	
評価方法	授業への参加度50%、最終スピーチ20%、英文エッセイ30%	
参考文献	授業中に適宜紹介する。	
備考	※記載内容は、前年度の講義計画ですので参考程度にご覧ください。 ※本科目における講義計画は、担当教員が決定し次第更新しますので、学務システムからご確認ください。	

講義科目名称： 基礎英語表現Ⅱ（20020）

授業コード： 20024

英文科目名称： ー

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択必修
担当教員			
渡邊 真由美			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>パラグラフの書式、構造を理解できる。 英語の論理展開を理解し、その考えにしたがって英文を書くことができる。 文法を正しく理解できる。</p>																																																																																										
授業計画	<p>第1回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">イントロダクション</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">授業の進め方、評価方法などの説明</td> </tr> </table> <p>第2回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">Unit 1 パラグラフの構造について</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">文の構造について</td> </tr> </table> <p>第3回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">Unit 2 Topic Sentence</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">主題文について</td> </tr> </table> <p>第4回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">Unit 3 Supporting Sentence</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">支持文について</td> </tr> </table> <p>第5回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">Unit 4 Concluding Sentence</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">まとめの文</td> </tr> </table> <p>第6回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">Unit 5 リストを作る</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">与えられたトピックにしたがって英文を作成する。 現在進行形</td> </tr> </table> <p>第7回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">Unit 6 計画をたてる</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">旅行の計画をたてる 助動詞（1）</td> </tr> </table> <p>第8回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">Unit 7 分類 分類</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">順序をつけた文章をかく 助動詞（2）</td> </tr> </table> <p>第9回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">Unit 8 二項対立</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">古いー新しいなど二項対立する概念を英文にする。 助動詞（3）</td> </tr> </table> <p>第10回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">クリスマス・カードを作る</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">誰かに向けてクリスマス・カードを作成する。</td> </tr> </table> <p>第11回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">Unit 9 原因と結果</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">等位接続詞について</td> </tr> </table> <p>第12回</p>			タイトル	イントロダクション			フリー欄	授業の進め方、評価方法などの説明			タイトル	Unit 1 パラグラフの構造について			フリー欄	文の構造について			タイトル	Unit 2 Topic Sentence			フリー欄	主題文について			タイトル	Unit 3 Supporting Sentence			フリー欄	支持文について			タイトル	Unit 4 Concluding Sentence			フリー欄	まとめの文			タイトル	Unit 5 リストを作る			フリー欄	与えられたトピックにしたがって英文を作成する。 現在進行形			タイトル	Unit 6 計画をたてる			フリー欄	旅行の計画をたてる 助動詞（1）			タイトル	Unit 7 分類 分類			フリー欄	順序をつけた文章をかく 助動詞（2）			タイトル	Unit 8 二項対立			フリー欄	古いー新しいなど二項対立する概念を英文にする。 助動詞（3）			タイトル	クリスマス・カードを作る			フリー欄	誰かに向けてクリスマス・カードを作成する。			タイトル	Unit 9 原因と結果			フリー欄	等位接続詞について		
タイトル	イントロダクション																																																																																										
フリー欄	授業の進め方、評価方法などの説明																																																																																										
タイトル	Unit 1 パラグラフの構造について																																																																																										
フリー欄	文の構造について																																																																																										
タイトル	Unit 2 Topic Sentence																																																																																										
フリー欄	主題文について																																																																																										
タイトル	Unit 3 Supporting Sentence																																																																																										
フリー欄	支持文について																																																																																										
タイトル	Unit 4 Concluding Sentence																																																																																										
フリー欄	まとめの文																																																																																										
タイトル	Unit 5 リストを作る																																																																																										
フリー欄	与えられたトピックにしたがって英文を作成する。 現在進行形																																																																																										
タイトル	Unit 6 計画をたてる																																																																																										
フリー欄	旅行の計画をたてる 助動詞（1）																																																																																										
タイトル	Unit 7 分類 分類																																																																																										
フリー欄	順序をつけた文章をかく 助動詞（2）																																																																																										
タイトル	Unit 8 二項対立																																																																																										
フリー欄	古いー新しいなど二項対立する概念を英文にする。 助動詞（3）																																																																																										
タイトル	クリスマス・カードを作る																																																																																										
フリー欄	誰かに向けてクリスマス・カードを作成する。																																																																																										
タイトル	Unit 9 原因と結果																																																																																										
フリー欄	等位接続詞について																																																																																										

	タイトル	Unit 11 プレゼンテーション (1)
	フリー欄	効果的なプレゼンテーションの方法を学ぶ (イントロ) 名詞・形容詞
	第13回	
	タイトル	Unit 12 プレゼンテーション (2)
	フリー欄	効果的なプレゼンテーションの方法を学ぶ (展開) 副詞
	第14回	
	タイトル	Unit 13 プレゼンテーション (3)
	フリー欄	効果的なプレゼンテーションの方法を学ぶ (結論) 命令文
	第15回	
	タイトル	プレゼンテーションをしてみよう!
	フリー欄	各自プレゼンを行う。
授業概要	テキストを使用して、パラグラフとは何か、から始まって、さまざまなトピックの英文を書くようにして行きます。また、文法の確認も行っていきます。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	授業中に予習箇所を指示します。必ず予習を行って授業に出席すること。 また、teamsを使用したエクササイズの提出。	
テキスト	Leonid Yoffe, Atsushi Chiba 他編著 『Message Delivered [Intermediate]』 『パターンで学ぶパラグラフ・ライティングとプレゼンテーション入門』 南雲堂、2,200円+税	
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	辞書を必ず持参すること。予習をして来ること。	
評価方法	毎回、teamsを通してエクササイズを提出してもらいます (50%)。クリスマス・カードの作成 (1回) と、授業内でのプレゼンテーション (1回) で50%。全授業回数の三分の二以上の出席を求めます。teamsによるエクササイズの提出は、時間厳守とします。	
参考文献	英和辞書 (紙でも電子辞書でも可)。	
備考	状況によっては、遠隔授業の場合あり。授業の内容が変更になることもありえます。スマートフォンの辞書機能を授業中に使用することは認めません。必ず、辞書を持参すること。	

講義科目名称： 発展英語表現 I (20030)

授業コード： 20031 20032 20033

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
タヴァコーリ, マーニ			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	The purpose of this class is for students to learn words and expressions to convey their feelings and ideas clearly and effectively in English.		
授業計画	第1回		
	タイトル	Introduction to the Course	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Body Idioms	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	Values Reading	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	My Favorite Book	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	My Favorite Artist	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	A Trip to My Hometown	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	A Trip Abroad	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	Audiovisual	
	フリー欄		
	第9回		
	タイトル	Fortunetelling	
フリー欄			
第10回			
タイトル	Haiku Party		
フリー欄			
第11回			
タイトル	Reading Discussion		
フリー欄			
第12回			
タイトル	English Idioms		
フリー欄			
第13回			

	タイトル	Songs and Games
	フリー欄	
	第14回	
	タイトル	Review
	フリー欄	
	第15回	
	タイトル	Test Preparation
	フリー欄	
授業概要	Using printed articles, the teacher will teach students expressions for discussing various topics. Students will then be divided into small groups to discuss the topic in English. The teacher will supervise the discussions and answer any questions the students may have.	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	Preparation for the class.	
テキスト	There is no textbook for this class. The teacher will prepare copies of material for some classes. Students will take notes. Also, students are asked to bring a Japanese-English/English-Japanese Dictionary, or an electric dictionary.	
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	This class will be challenging and fun.	
評価方法	50% of the grade will be based on active class participation. 50% will be based on a final interview exam.	
参考文献		
備考		

講義科目名称： 発展英語表現Ⅱ (20040)

授業コード： 20041 20042

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
タヴァコーリ, マーニ			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	The purpose of this class is for students to learn how to relate stories about their life and their experiences clearly in English.		
授業計画	第1回		
	タイトル	Introduction to the Course	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Funny Stories	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	Scary Stories	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	Travel Stories	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	Sports Stories	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	Romantic Stories	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	Game	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	Animal Stories	
	フリー欄		
	第9回		
	タイトル	Embarrassing Stories	
フリー欄			
第10回			
タイトル	Audiovisual		
フリー欄			
第11回			
タイトル	Reading Discussion		
フリー欄			
第12回			
タイトル	Future Stories		
フリー欄			
第13回			

	タイトル	A Day in the Life
	フリー欄	
	第14回	
	タイトル	Review
	フリー欄	
	第15回	
	タイトル	Test Preparation
	フリー欄	
授業概要	Students will write a daily journal in English. Common mistakes from journals will be corrected each week. Students will be asked to prepare a story to present each week. There will also be dictation practice.	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	Journal	
テキスト	There is no textbook for this class. Students will need 2 notebooks, for notes and English journal. Also, students are asked to bring a Japanese-English/English-Japanese Dictionary, or an electric dictionary, or smartphone.	
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	This class is very challenging, but very effective for improving English ability.	
評価方法	25% Class Participation. 25% Final Interview Exam. 50% English Journal.	
参考文献		
備考		

講義科目名称： 英会話 I (20110)

授業コード： 20111 20112 20113

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択必修・教職選択必修
担当教員			
タヴァコーリ, マーニ			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	The purpose of this class is to learn how to use words and simple expressions that will help students to express themselves clearly and correctly in daily activities. Students will also learn how to improve their understanding of spoken English. Only English will be used when teaching this class.		
授業計画	第1回		
	タイトル	Introduction to the Course	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Likes and Dislikes	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	Food	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	Restaurant English	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	My Hometown	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	Holidays and Festivals	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	Movies and TV Shows	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	Audiovisual	
	フリー欄		
第9回			
タイトル	Airplane		
フリー欄			
第10回			
タイトル	Immigration		
フリー欄			
第11回			
タイトル	Hotel		
フリー欄			
第12回			
タイトル	Superstitions		
フリー欄			

	第13回
	タイトル Game
	フリー欄
	第14回
	タイトル Review
	フリー欄
	第15回
	タイトル Test Preparation
	フリー欄
授業概要	In each class, the teacher will teach basic phrases to discuss a general topic. Students will then be divided into small groups to practice the phrases and discuss the topic in English. The teacher will supervise the discussions and answer any questions the students may have.
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	Occasional Written Assignments
テキスト	There is no textbook for this class. Students will take notes. Also, students are asked to bring a Japanese-English/English-Japanese Dictionary, or an electric dictionary or smart phone.
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	Don't be afraid to speak in English. English is fun! Participate enthusiastically in class activities. A good attitude makes a strong learning environment.
評価方法	50% of the grade will be based on active class participation. 50% will be based on a final interview exam.
参考文献	
備考	

講義科目名称： 英会話Ⅱ（20120）

授業コード： 20121 20122 20123

英文科目名称： English Conversation II

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択必修・教職選択必修
担当教員			
タヴァコーリ, マーニ			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	The purpose of this class is to learn how to use words and simple expressions that will help students to express themselves clearly and correctly in daily activities. Students will also learn how to improve their understanding of spoken English. Only English will be used when teaching this class. The contents of this class are different from English Conversation I.		
授業計画	第1回		
	タイトル	Introduction to the Course	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Describing `People	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	Family	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	Comparison with Adjectives	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	Numbers	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	Shopping	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	Time	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	Audiovisual	
	フリー欄		
第9回			
タイトル	Music		
フリー欄			
第10回			
タイトル	Fast Food		
フリー欄			
第11回			
タイトル	American Money		
フリー欄			
第12回			
タイトル	Health		
フリー欄			

	第13回
	タイトル Hobbies and Free Time
	フリー欄
	第14回
	タイトル Review
	フリー欄
	第15回
	タイトル Test Preparation
	フリー欄
授業概要	In each class, the teacher will teach basic phrases to discuss a general topic. Students will then be divided into small groups to practice the phrases and discuss the topic in English. The teacher will supervise the discussions and answer any questions the students may have.
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	Occasional Written Assignments
テキスト	There is no textbook for this class. Students will take notes. Also, students are asked to bring a Japanese-English/English-Japanese Dictionary, or an electric dictionary or smartphone.
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	Don't be afraid to speak in English. English is fun! Participate enthusiastically in class activities. A good attitude makes a strong learning environment.
評価方法	50% of the grade will be based on active class participation. 50% will be based on a final interview exam.
参考文献	
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2	2	選択必修
担当教員			
渡邊 真由美			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	本授業では、英語で書かれた小説を読みながら、英文を正しく読める力を養っていくことを目指します。到達目標は、1、英文の構造が理解できること、2、英単語・英熟語の文中での適切な意味が理解できる、3、英文を正しく日本語にできる、4、小説の内容とその面白さを理解できる、の4点である。		
授業計画	第1回		
	タイトル	イントロダクション	
	フリー欄	授業の進め方、予習の仕方、評価方法についての説明を行う。「はしがき」を読む。書簡体文学について。	
	第2回		
	タイトル	Daddy-Long-Legs pp. 1-3	
	フリー欄	小説を読む。"more than"の使い方について。現在時制による語りについて	
	第3回		
	タイトル	Daddy-Long-Legs pp. 4-6	
	フリー欄	現在完了形について	
	第4回		
	タイトル	Daddy-Long-Legs pp. 7-11	
	フリー欄	否定の疑問文	
	第5回		
	タイトル	Daddy-Long-Legs pp. 11-14	
	フリー欄	shouldの用法	
	第6回		
	タイトル	Daddy-Long-Legs pp. 15-19	
	フリー欄	未来表現	
	第7回		
	タイトル	Daddy-Long-Legs pp. 19-23	
	フリー欄	受身形について	
	第8回		
	タイトル	Daddy-Long-Legs pp. 23-25	
	フリー欄	形容詞 叙述用法	
第9回			
タイトル	Daddy-Long-Legs pp. 26-30		
フリー欄	動名詞		
第10回			
タイトル	Daddy-Long-Legs pp. 30-33		
フリー欄	letの用法		
第11回			
タイトル	Daddy-Long-Legs pp. 34-37		
フリー欄	dareの用法		
第12回			
タイトル	Daddy-Long-Legs pp. 38-42		

	フリー欄	比較級を使った構文
	第13回	
	タイトル	Daddy-Long-Legs pp. 42-45
	フリー欄	登場人物の感情の移り変わりを考える
	第14回	
	タイトル	Daddy-Long-Legs pp. 46-49
	フリー欄	supposeの用法
	第15回	
	タイトル	Daddy-Long-Legs ~55
	フリー欄	英語小説を読む. これまでのまとめと感想
	第16回	
	タイトル	試験
	フリー欄	
授業概要	1912年に出版された_Daddy-Long-Legs_『あしながおじさん』の抄編を読んでいます。毎時間ごとに読む箇所を指定します。その部分を予習してきてもらい、授業内で重要箇所について解説します。1-3文程度指名の上、訳をつけてもらいます。授業の最後に重要事項についての理解度を図るクイズを行います。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	次回に予習してくる箇所を指定します。その部分について、単語の意味を調べ、授業中に日本語訳を発表できるように英文を読んでください。	
テキスト	Alice Jean Webster, _Daddy-Long-Legs_ 佐野義之・山中信夫。南雲堂。1,200円＋税。 ISBN: 4-523-06643-4 C3382	
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	英文を読めるようになることと同時に、物語の面白さを味わってください。	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への積極的な参加（授業中にスマートフォン等、授業に関係ないものを使用しないこと、授業に特別な事情を除いて毎回参加すること、予習をしてあること、クイズへの解答 等で評価します）30%</li> <li>・期末試験 70%（予定）レポート等に変更の可能性あり。</li> <li>・全授業回数の三分の二以上の出席を求めます。</li> </ul>	
参考文献	英和辞典（紙でも電子辞書でも構いません）。授業には必ず持参してください。スマートフォンの辞書機能では、不十分です。	
備考	・遠隔授業の際には、毎回課題の提出を求めます（出席の代わりとなる）。	

講義科目名称：リーディングⅡ（20220）

授業コード：20220

英文科目名称：－

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2	2	選択必修
担当教員			
太田 裕子			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	英語学概論として、英語に関する様々な話題を専門用語を避けて平易な英語で書かれた教科書を読みます。語彙力の養成、読解力の向上に取り組みます。		
授業計画	第1回		
	タイトル	オリエンテーション Self-Introduction	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	PartC : p 10, p14 Chap. 4 速読+Exercise A&B	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	PartC : p 18, p22 Chap. 4 和訳発表+精読	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	PartC : p 26, p30 Chap. 5 速読+Exercise A&B	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	PartC : p 34, p38 Chap. 5 和訳発表+精読	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	PartC : p 42, p46 Chap. 7 速読+Exercise A&B	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	PartC : p 50, p54 Chap. 7 和訳発表+精読	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	PartC : p 58, p62 Chap. 18 速読+Exercise A&B	
	フリー欄		
	第9回		
	タイトル	PartC : p 66, p70 Chap. 18 和訳発表+精読	
フリー欄			
第10回			
タイトル	PartC : p 74, p78 Chap. 23 速読+Exercise A&B		
フリー欄			
第11回			
タイトル	PartC : p 82, p86 Chap. 23 和訳発表+精読		
フリー欄			
第12回			
タイトル	PartC : p 90, p94,		
フリー欄			
第13回			

	タイトル	PartC : p 98, p102
	フリー欄	
	第14回	
	タイトル	PartC : p 106, p110
	フリー欄	
	第15回	
	タイトル	習熟度の確認
	フリー欄	
	第16回	
	タイトル	試験など
	フリー欄	
授業概要	<p>演習形式で授業を行います。26章から5章を選んで読む予定です。和訳担当を決めて発表していただきます。訳すところの英文を読んでから、和訳をしてください。クラス全体に聞こえるようにゆっくりと大きな声で発表しましょう。発表者は和訳を紙に書いて用意してきましょう。そして、PartCの整序英作文を1回2章分ずつ取り組む予定です。</p>	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	授業を踏まえてテキストを今一度読み直し、毎回の授業のノートやメモを整理すること。	
テキスト	英語についての26章 Twenty-six Short Essays on English (2013) 英宝社 定価1,995円 Naoyuki Akaso, William Herlofsky, Katsumasa Simuzu ISBN978-4-269-14018-9 さわらびで購入可能	
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	予習として大まかな情報を読み取るだけなら、速読でいいのですが、読解に必要な語彙力養成のために単語の意味調べをするようにしましょう。和訳担当者以外の人にも内容に関する質問や和訳をお願いすることがあります。	
評価方法	授業で読んだところの内容理解、文法事項、語彙に関する筆記試験を行います。 グループワークへの参加、提出物も評価の対象とします。 授業参加 (アクティビティへの参加など20点)、提出物 (30点)、学期末試験 (50点)	
参考文献	音読MAX (2012) 南雲堂 1,400円+税 黒川裕一著 ISBN978-4-523-26512-2	
備考	参考書は購入を義務付けるものではありません。	

講義科目名称：リーディングⅢ（20230）

授業コード：20230

英文科目名称：-

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2	2	選択必修
担当教員			
三枝 和彦			
自由表示項目1	自由表示項目2	自由表示項目3	自由表示項目4
			授業形態：講義
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>本授業は、現代社会の様々な話題に関する文章の読解を通して、英文を正確に読むために必要な語彙力と読解力の獲得を目標とします。          具体的な到達目標は次の通りです。          ①授業で扱う語彙の意味を言うことができる。          ②授業で扱う文章を正確に読むことができる。          ③授業で扱う語彙や文法の知識を活用して聞いたり、書いたりすることができる。</p>																																														
授業計画	<p>第1回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>イントロダクション</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第2回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>Unit 1 Music and the Mind</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第3回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>Unit 2 Body Language across Cultures</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第4回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>Unit 3 Turning Waste into Wealth</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第5回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>Unit 4 The Search for Other Worlds</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第6回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>Unit 5 Crowdsourcing</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第7回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>Unit 6 Urban Landmarks</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第8回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>中間試験と振り返り</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第9回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>Unit 7 Food Safety</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第10回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>Unit 8 Spending a Fortune</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第11回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>Unit 9 Wonders of the Deep</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第12回</p>			タイトル	イントロダクション	フリー欄		タイトル	Unit 1 Music and the Mind	フリー欄		タイトル	Unit 2 Body Language across Cultures	フリー欄		タイトル	Unit 3 Turning Waste into Wealth	フリー欄		タイトル	Unit 4 The Search for Other Worlds	フリー欄		タイトル	Unit 5 Crowdsourcing	フリー欄		タイトル	Unit 6 Urban Landmarks	フリー欄		タイトル	中間試験と振り返り	フリー欄		タイトル	Unit 7 Food Safety	フリー欄		タイトル	Unit 8 Spending a Fortune	フリー欄		タイトル	Unit 9 Wonders of the Deep	フリー欄	
タイトル	イントロダクション																																														
フリー欄																																															
タイトル	Unit 1 Music and the Mind																																														
フリー欄																																															
タイトル	Unit 2 Body Language across Cultures																																														
フリー欄																																															
タイトル	Unit 3 Turning Waste into Wealth																																														
フリー欄																																															
タイトル	Unit 4 The Search for Other Worlds																																														
フリー欄																																															
タイトル	Unit 5 Crowdsourcing																																														
フリー欄																																															
タイトル	Unit 6 Urban Landmarks																																														
フリー欄																																															
タイトル	中間試験と振り返り																																														
フリー欄																																															
タイトル	Unit 7 Food Safety																																														
フリー欄																																															
タイトル	Unit 8 Spending a Fortune																																														
フリー欄																																															
タイトル	Unit 9 Wonders of the Deep																																														
フリー欄																																															

	タイトル	Unit 10 Product Placement
	フリー欄	
	第13回	
	タイトル	Unit 11 White-Collar Crime
	フリー欄	
	第14回	
	タイトル	Unit 12 Working Disabled
	フリー欄	
	第15回	
	タイトル	期末試験と振り返り
	フリー欄	
授業概要	授業計画に沿って、教科書を進めていきます。毎回の授業は文章読解が中心となりますが、書いたり聞いたりする活動も行います。	
実務経験及び授業の内容	該当しない	
時間外学習	必ず予習をしたうえで授業に臨みましょう。文章をよく読み、分からない語彙表現は調べてきてください。また、授業後は復習をして知識の定着を図ることが大切です。	
テキスト	Andrew E. Bennett 『Reading Fusion 1 Second Edition』 南雲堂 (ISBN: 9784523179726 ¥2400+税)	
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)		
評価方法	中間試験 (50%)、期末試験 (50%)	
参考文献		
備考	授業には必ず辞書を持参してください。	

講義科目名称：リーディングⅣ（20240）

授業コード：20240

英文科目名称：－

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2	2	選択必修
担当教員			
今井 コレット			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	Through reading a variety of essays on topics related to English, we will study grammar and the usage of words in sentences. The aim of this course is to improve reading ability and to critical thinking.		
授業計画	第1回		
	タイトル	Orientation	
	フリー欄	The Arts	
	第2回		
	タイトル	Body Language across Cultures	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	Turning Waste into Wealth	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	The Search for Other Worlds	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	Crowdsourcing	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	Urban Landmarks	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	Food Safety	
	フリー欄		
	第8回		
タイトル	Spending a Fortune		
フリー欄			
第9回			
タイトル	Wonders of the Deep		
フリー欄			
第10回			
タイトル	Product Placement		
フリー欄			
第11回			
タイトル	White-Collar Crime		
フリー欄			

	第12回
	タイトル Working Disabled
	フリー欄
	第13回
	タイトル Pet Therapy
	フリー欄
	第14回
	タイトル Quantum Computers
	フリー欄
	第15回
	タイトル Breaking the Poverty Cycle
	フリー欄
授業概要	Thorough reading of each lesson will give students the opportunity to read and think about many topics concerning our lives and world today.
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	Pre-reading of each lesson and checking the meaning of unknown words in dictionaries will be required.
テキスト	Reading Fusion 1Second Edition Andrew E. Bennett / 加藤敦 南雲堂 ISBN 987-4-523-1772-6
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	Please don't hesitate to ask questions in class. However, coming to class as prepared as possible will ensure you and your classmates get the most out of your time.
評価方法	Participation in class 25%, Final exam 75%
参考文献	Will be recommended in class when appropriate
備考	

講義科目名称：ライティング I (20310)

授業コード： 20310

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
三枝 和彦			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	この授業では、英作文に必要な語彙表現や文法事項に関する理解を深め、英作文の基礎的な力を固めることを目標とします。具体的な到達目標は下記の通りです。 ①授業で扱う構文を用いて書かれた英文の意味を言うことができる。 ②授業で学習する文法知識を活用して英文を書くことができる。 ③授業で学習する語彙表現の知識を活用して英文を書くことができる。		
授業計画	第1回		
	タイトル	オリエンテーション	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Chapter 1 that節を使いこなす	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	Chapter 2 何かをしてもらい、何かをさせるには	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	Chapter 3 動詞が2つある文っておかしくないですか？	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	Chapter 4 「ネコが鳩を捕まえているのを見た」と言えますか？	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	Chapter 5 隠れている疑問文を探せ！	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	Chapter 6 関係代名詞をまとめて覚えよう	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	振り返りと中間試験	
	フリー欄		
	第9回		
	タイトル	Chapter 7 whereを「どこ」と訳さないとき	
	フリー欄		
	第10回		
	タイトル	Chapter 8 決意や条件を述べる時使える表現とは？	
	フリー欄		
	第11回		
	タイトル	Chapter 9 no matterの用法を極めよう！	
	フリー欄		

	第12回
	タイトル Chapter 10 「たまたま〜する」と英語で言うには？
	フリー欄
	第13回
	タイトル Chapter 11 後悔を表すshould have, could haveの使い方
	フリー欄
	第14回
	タイトル Chapter 12 仮定法の壁を超えよう！
	フリー欄
	第15回
	タイトル 振り返りと期末試験
	フリー欄
授業概要	教科書の内容に沿って、語彙表現や文法事項、パラグラフの基本構造などを学んでいきます。授業中は予習事項の解答解説と練習問題の演習をおこないます。必ず予習をしたうえで授業に臨んでください。また、毎回の授業で小テストを行います。
実務経験及び授業の内容	該当しない
時間外学習	授業で学習した事項について復習して知識の定着を図り、小テストに備えましょう。また、次回の授業範囲を予習しましょう。
テキスト	マーク・ピーターセン、澤井康佑『英会話に強くなる英文法・英作文』音羽書房鶴見書店（¥2000+税） ISBN: 978-4-7553-0058-5
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	
評価方法	小テスト（30%）、中間試験（35%）、期末試験（35%）
参考文献	
備考	

講義科目名称：ライティングⅡ（20320）

授業コード：20320

英文科目名称：－

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
三枝 和彦			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	この授業では英文パラグラフの基本構造を理解し、その知識を踏まえ、パラグラフを構築することができるようになることを目標とします。具体的な目標は下記の通りです。 ①英語で書かれた文章の構造を説明することができる。 ②パラグラフの基本的な知識を踏まえ、文章を構築することができる。 ③内容に合わせて効果的なパラグラフ構造を選択することができる。		
授業計画	第1回		
	タイトル	オリエンテーション	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Unit 1 Conclusion / Research	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	Unit 2 Social Trends	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	Unit 3 Results / Causes	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	Unit 4 Several Explanations	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	Unit 5 Comparison	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	Unit 6 For and Against	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	Unit 7 Classification	
	フリー欄		
	第9回		
	タイトル	Unit 8 History	
	フリー欄		
	第10回		
	タイトル	Unit 9 Processes	
	フリー欄		
	第11回		
	タイトル	Unit 10 Causes and Effects	
	フリー欄		
	第12回		
	タイトル	Unit 11 Definition of a New Word	

	フリー欄	
	第13回	
	タイトル	Unit 12 Research
	フリー欄	
	第14回	
	タイトル	Unit 13 New Products
	フリー欄	
	第15回	
	タイトル	Unit 14 Let Me Entertain You
	フリー欄	
授業概要	教科書の内容に沿って、語彙表現や文法事項、パラグラフの基本構造などを学んでいきます。授業中は予習事項の解説、練習問題の演習、ライティングの実践を行います。予習をしたうえで授業に臨んでください。合計4回、ライティング課題の提出が求められます。	
実務経験及び授業の内容	該当しない	
時間外学習	授業前に予習をして、授業後は学習した事項について復習して知識の定着を図りましょう。提出課題に取り組み、期日までに提出しましょう。	
テキスト	石谷由美子『Skills for Better Writing Intermediate Third Edition』（¥2000+税） ISBN: 9784523179337	
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）		
評価方法	英作文の提出課題（25%）×4回	
参考文献		
備考		

講義科目名称： リスニング I (20410)

授業コード： 20410

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択必修
担当教員			
阿部 隆夫			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	就職や留学の際に必須となるTOEIC (pt. 4) とTOEFLの聞き取りの得点を上げる。北アメリカの英語とヨーロッパの英語との両方が聞こえるようにすること		
授業計画	第1回		
	タイトル		
	フリー欄	TOEFL 問題1、Nos. 1-5 (以下、T 1-5) 願書に関する教授と学生の会話、Headway, Chap.1 (以下、H1) 大学のオリエンテーション	
	第2回		
	タイトル		
	フリー欄	T 6-10 生物の試験勉強、 H1 履修登録の問い合わせ	
	第3回		
	タイトル		
	フリー欄	T 11-16 水資源の講義, H2演習の導入授業	
	第4回		
	タイトル		
	フリー欄	T 17-22 哲学の講義、H2 アシスタント授業tutorialの会話	
	第5回		
	タイトル		
	フリー欄	T 23-28 植物学の講義 H3 環境学の授業	
	第6回		
	タイトル		
	フリー欄	T 29-34 経営管理学の講義、H3 地球環境維持の協会	
	第7回		
	タイトル		
	フリー欄	TOEFL問題2、T 1-5 課題に関する教授との会話、H4 建築学の講演	
	第8回		
	タイトル		
	フリー欄	T 6-11 人類学の講義、H4建築学の講義	
第9回			
タイトル			
フリー欄	T 12-16 生物学の講義、H5 学習方法の授業		
第10回			
タイトル			
フリー欄	T 17-21 職員への問い合わせ、H5 複合知性の授業		
第11回			
タイトル			
フリー欄	T 22-27 天文学の講義、H6 技術革新のスピーチ		
第12回			
タイトル			
フリー欄	T 28-33 芸術学の講義、H6 技術に関する電話の会話		

	第13回
	タイトル
	フリー欄
	TOEFL 問題3、T 1-5 教室に関する問い合わせ、H7 言語と文化の議論
	第14回
	タイトル
	フリー欄
	T 6-11 ハチドリの講義、H7 プリゼンテーションの仕方
	第15回
	タイトル
	フリー欄
	T12-17 映画製作の講義、H8 地理学のプレゼンテーション
授業概要	コンピュータ端末受験TOEFL聞き取りセクションを紹介し、準備、訓練方法を学ぶ。またUKを基本とした英語の聞き取りになれることで、相対的に北アメリカ大陸の英語をも聞き取れるように練習する。同時に両方の発音の違いを学ばせる。
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	各回分の予習範囲の答え合わせと音読練習を済ませてから、授業に臨んでほしい。
テキスト	The Official Guide to the TOEFL Test 5th Edition (McGraw Hill, 2018), Emma and Gary Pathare, Headway Academic Skills: Listening, speaking and Study Skills (Oxford UP, 2011)
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	
評価方法	試験100%
参考文献	
備考	

講義科目名称： リスニングⅡ（20420）

授業コード： 20420

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択必修
担当教員			
太田 裕子			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	TOEFL対応の教科書を活用して、アカデミック英語に触れます。英語の講義のリスニングで概要の把握ができるようになることが目標です。		
授業計画	第1回		
	タイトル	オリエンテーション Self - Introduction	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Unit 1 Party!	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	Unit 2 College Admissions	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	Unit3 Feedback on a Presentation	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	Unit4 No One's There!	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	Unit5 History of Halloween	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	Unit 6 The Political System in the U.S. and the U.K.	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	Unit 7 The Earlier the Better?	
	フリー欄		
第9回			
タイトル	Unit 9 Impressionism in Fine Arts		
フリー欄			
第10回			
タイトル	Unit 10 The Origin of Species		
フリー欄			
第11回			
タイトル	Unit 11 Alternative Agriculture		
フリー欄			
第12回			
タイトル	Unit 12 The Popularity of Victorian Novels		

	フリー欄	
	第13回	
	タイトル	Unit 13 Free Will Problem
	フリー欄	
	第14回	
	タイトル	Unit 14 The Discovery of Jupiter' s Moons
	フリー欄	
	第15回	
	タイトル	習熟度の確認
	フリー欄	
	第16回	
	タイトル	試験など
	フリー欄	
授業概要	リスニングによるインプットからライティングでのアウトプットという流れでエクササイズに取り組みます。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	自分の興味関心に沿った洋楽や英語の動画などに日常的に触れましょう。教科書のreview1&2は宿題にする予定です。	
テキスト	Global Gateway (2018) 南雲堂 赤尾 美和・幸重 美津子・西垣 佐理・松田 紀子・radley Quinn 著 ¥2,090(税込) ISBN978-4-523-17861-3 C0082 さわらびで購入可能	
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	グループ・ペアワークでのロールプレイでは会話しているように聞こえるように感情を込めましょう。	
評価方法	リスニング試験を行います。 グループ・ペアワークへの参加も評価の対象とします。 授業参加50点 (2/3以上の出席、欠席は6点減点、グループ・ペアワークへの参加) 、学期末試験 (50点)	
参考文献		
備考		

講義科目名称： TOEICリスニング I (20461)

授業コード： 20461

英文科目名称： Preparation for the TOEIC Listening Test I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択必修
担当教員			
北山 長貴			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：講義
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEIC テストの出題形式の理解と、英語リスニング能力の向上をテーマとします。</li> <li>・英語を聞き取るために必要な英語の音声的特徴を修得できることを到達目標とします。</li> </ul>		
授業計画	第1回		
	タイトル	Unit 1 Transportation and Information	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Unit 2 Instructions and Explanation	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	Unit 3 Eating and Drinking	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	Unit 4 Business Scene	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	English Vowels and Consonants (英語の母音と子音について)	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	Strong and Weak forms of English words (英語の発音、音節と強勢について)	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	Contractions and Elisions (英語の発音、短縮形と省略形・同化について)	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	Unit 5 Communication	
	フリー欄		
第9回			
タイトル	Unit 6 Socializing		
フリー欄			
第10回			
タイトル	Unit 7 Invitation		
フリー欄			
第11回			
タイトル	Unit 8 Unit Medical Treatment and Insurance		
フリー欄			
第12回			
タイトル	Unit 9 Cultural and Entertainment		
フリー欄			

	第13回
	タイトル Unit 10 Shopping
	フリー欄
	第14回
	タイトル Unit 11 Sports and Exercise
	フリー欄
	第15回
	タイトル Unit 12 Trouble and Claims
	フリー欄
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>TOEICテストのリスニング・セクションに対応できるリスニング練習を行います。</li> <li>テキストは1回の授業で1課進みます。</li> <li>授業ではリスニングとリーディングの各セクションについての TOEIC の出題傾向を紹介します。</li> </ul>
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>無料ストリーミングがありますので、テキストの内容の予習に活用してください。</li> <li>授業中にわからなかった語句の意味を調べてください。</li> <li>翌週の学習内容の範囲を指定するので、その該当箇所を予め読み、理解してきてください。</li> </ul>
テキスト	『TOEIC L&R テストへのファーストステップ—改訂新版—』成美堂 2000円（本体価格） ISBN 978-4-7919-3092-1【購買部のさわりびで購入できます】
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎回の授業内容のまとめ復習としてリスニング・クイズを行います。</li> <li>学生の興味を引くように身近な事例を多く取り入れながら講義を進めていきます。</li> <li>授業で伝えたいことや修得して欲しいことを明確に伝えていきます。</li> </ul>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト（50%）、筆記試験（50%）</li> <li>出席は「出席管理システム」を利用しますので、使用方法を事前に確認しておいてください。</li> </ul>
参考文献	
備考	

講義科目名称： TOEICリスニングⅡ (20462)

授業コード： 20462

英文科目名称： ー

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択必修
担当教員			
今井 コレット			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	TOEIC Listening & Reading Testのリスニングセクションと同じ形式の問題を解くことによってTOEICの問題に慣れながら、英語リスニング力を高めること。		
授業計画	第1回		
	タイトル	オリエンテーション	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Travel	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	In the Office	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	Cooking	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	Recreation	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	Office Life	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	Travel	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	Job Interview	
	フリー欄		
	第9回		
	タイトル	Leisure Time	
フリー欄			
第10回			
タイトル	On the Job		
フリー欄			
第11回			
タイトル	Supermarket		
フリー欄			
第12回			
タイトル	At the Office		
フリー欄			
第13回			

	タイトル	Daily Life
	フリー欄	
	第14回	
	タイトル	Money
	フリー欄	
	第15回	
	タイトル	Business
	フリー欄	
授業概要	毎回、リスニングをする際に注意すべきポイントを担当教員が解説した後、受講生はTOEIC形式の問題を解いていく。その後、答え合わせをしながら、担当教員が問題の解説をする。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	復習として、授業で学習した箇所の音声を繰り返し聴くこと。わからなかった語句の意味をよく覚えること。	
テキスト	Matthew Wilson・鶴岡公幸(著)『QUICK EXERCISES FOR THE TOEIC L&R TEST 500 Listening』松柏社 1,430円(税込) ISBN: 978-4-88198-749-0	
受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)	授業ではできるだけ詳しく問題の解説をしていきたい。受講生の皆さんは、テキストの問題を収録した音声ファイル(無料でダウンロード可能)、インターネット、ラジオ、テレビ、市販教材などを利用して、授業以外の時間にもできるだけ多くの英語を聞く努力をしてほしい。	
評価方法	授業への参加度25%、学期末試験75%	
参考文献	授業中に適宜紹介する。	
備考		

講義科目名称： 英文法 I (20510)

授業コード： 20510

英文科目名称： 一

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2	2	選択必修・教職必修
担当教員			
松井 真人			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	本学英語英文学科で専門的な勉強する上で必要な英文法の知識を身につけること。		
授業計画	第1回		
	タイトル	オリエンテーション	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	コトバの役割パーツ：品詞	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	英語は時間にきっちりしたコトバ：時制・進行形	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	文を作るレシピ：基本5文型	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	過去のできごとが今に影響をおよぼす：現在完了	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	現在完了の考え方は過去でも未来でも通用する：過去完了・未来完了	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	話し手の気持ちをこめる表現：法助動詞	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	現実でない「もしも」の世界を語ろう：仮定法	
	フリー欄		
	第9回		
	タイトル	名詞を文で修飾しよう：関係節	
	フリー欄		
第10回			
タイトル	場所・時・理由・方法も文で修飾できる：関係副詞		
フリー欄			
第11回			
タイトル	主語と接続詞が隠された文：分詞構文		
フリー欄			
第12回			
タイトル	話し手のモノゴトの見方を伝える道具：冠詞		
フリー欄			
第13回			

	タイトル	動詞のジョーカー：不定詞
	フリー欄	
	第14回	
	タイトル	スルのが能動態、サレルのが受動態：受け身形
	フリー欄	
	第15回	
	タイトル	「させる」と「してもらう」のは微妙にちがう：使役形
	フリー欄	
授業概要	担当教員がテキストに沿って文法項目の解説をした後で、受講生は練習問題に取り組む。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	予習として、次の授業で学習するテキストの範囲の解説をよく読み、練習問題も解いてみる。復習として、わからなかった文法事項をよく覚えること。	
テキスト	藤田直也（著）『クラスで読む英文法ーリメディアル学習対応ー』朝日出版社 1,980円（税込） ISBN: 978-4-255-15479-4	
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	できるだけ丁寧に解説していきたい。わからない点があれば遠慮なく質問してほしい。また、しっかり予習と復習をして、授業で学んだことを徹底的に覚え、英文法の知識を増やしてほしい。	
評価方法	授業への参加度25%、試験75%	
参考文献	授業中に適宜紹介する。	
備考		

講義科目名称： 英文法Ⅱ (20520)

授業コード： 20520

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2	2	選択必修
担当教員			
阿部 隆夫			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
	聴講生開講科目※	※一般の男女が聴講する場合 有	授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	英語圏で文法を学習するように英語のままの文法用語で理解し文法の説明ができるようになること		
授業計画	第1回		
	タイトル	単純現在と現在進行形、過去時制 (の問題練習、以下同様)	
	フリー欄	以下主教材の予定 (副教材では下記問題集を毎回1ページずつ15ページまで進む)	
	第2回		
	タイトル	現在完了と単純過去の比較、過去完了 (の問題練習、以下同様)	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	未来時制、助動詞 (能力・許可・要求)	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	助動詞 (可能性・命令・義務)	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	不定詞と動名詞の比較	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	受動態、動詞句	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	間接話法	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	仮定法、不可算名詞と可算名詞	
	フリー欄		
第9回			
タイトル	所有詞、指示語		
フリー欄			
第10回			
タイトル	数量詞、比較級・最上級		
フリー欄			
第11回			
タイトル	同程度を示す形容詞、副詞		
フリー欄			
第12回			
タイトル	文接続の副詞、前置詞と名詞句の接続		
フリー欄			

	第13回
	タイトル 前置詞句、接続語
	フリー欄
	第14回
	タイトル 文の接続、関係節
	フリー欄
	第15回
	タイトル 時、場所、理由の表現、語句の省略方法
	フリー欄
授業概要	中級程度の文法項目を中心に上げ、それを英語圏で文法を学習するように英語のままの文法用語で理解し文法の説明ができるようになる程度まで練習する。その過程で英語文法の素養を育む。各自が文法を暗記するよりも、言語認識の観点から自分の言葉で文法の仕組みを説明できるレベルを目指す。また副教材では、日本語発想の文法・語彙の間違いを問題形式で習う。
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	毎回二章分の小テストを行うので、事前に問題集の答えを確認したうえで授業に臨んでほしい。
テキスト	John Eastwood, Intermediate Oxford Practice Grammar (Oxford UP, 2019) , 副教材Takao Abe, Common Mistakes of English (非売品のため無料配布)
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	設問と答え・解説が明快でTOEFLやTOEICにも応用できる文法項目別構成の問題集を使うので、毎回1, 2単元分の予習が必要となる。
評価方法	毎回の小テスト (60%) と期末試験 (40%) で判定する。
参考文献	
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2	2	選択
担当教員			
渡邊 真由美			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
開放 (外国語)			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>テーマ：英語で書かれた時事問題を読む。時事問題に使われる言い回しに慣れ、英字新聞 (New York Times_ など)を読めるようになる。</p> <p>到達目標：1. 報道で使用されている英語の言い回しに慣れる。 2. パラグラフの構成を理解し、英文全体の内容を的確に理解できるようにする。 3. 時事問題に関心を持ち、その歴史的背景をふまえて理解できるようにする。</p>																																																																		
授業計画	<p>第1回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">イントロダクション</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">授業の進め方・評価方法等の説明</td> </tr> </table> <p>第2回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">Unit 1</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">AI in Education: AI と教育 エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解</td> </tr> </table> <p>第3回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">unit 2</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">Multitasking：二つ以上の仕事を同時にこなす  エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解</td> </tr> </table> <p>第4回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">unit 3</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">To Nap or Not to Nap  エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解</td> </tr> </table> <p>第5回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">Unit 4</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">Domino's Pizza Car: ドミノピザの配達車 エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解</td> </tr> </table> <p>第6回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">Unit 5</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">What is Flag Football? : 新しいフットボールとは? エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解</td> </tr> </table> <p>第7回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">Unit 6</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">Chief UNO Player: UNOが得意な女性 エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解</td> </tr> </table> <p>第8回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="3">Unit 7</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="3">Basketball Superstar エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解</td> </tr> </table> <p>第9回</p>			タイトル	イントロダクション			フリー欄	授業の進め方・評価方法等の説明			タイトル	Unit 1			フリー欄	AI in Education: AI と教育 エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解			タイトル	unit 2			フリー欄	Multitasking：二つ以上の仕事を同時にこなす  エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解			タイトル	unit 3			フリー欄	To Nap or Not to Nap  エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解			タイトル	Unit 4			フリー欄	Domino's Pizza Car: ドミノピザの配達車 エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解			タイトル	Unit 5			フリー欄	What is Flag Football? : 新しいフットボールとは? エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解			タイトル	Unit 6			フリー欄	Chief UNO Player: UNOが得意な女性 エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解			タイトル	Unit 7			フリー欄	Basketball Superstar エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解		
タイトル	イントロダクション																																																																		
フリー欄	授業の進め方・評価方法等の説明																																																																		
タイトル	Unit 1																																																																		
フリー欄	AI in Education: AI と教育 エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解																																																																		
タイトル	unit 2																																																																		
フリー欄	Multitasking：二つ以上の仕事を同時にこなす  エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解																																																																		
タイトル	unit 3																																																																		
フリー欄	To Nap or Not to Nap  エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解																																																																		
タイトル	Unit 4																																																																		
フリー欄	Domino's Pizza Car: ドミノピザの配達車 エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解																																																																		
タイトル	Unit 5																																																																		
フリー欄	What is Flag Football? : 新しいフットボールとは? エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解																																																																		
タイトル	Unit 6																																																																		
フリー欄	Chief UNO Player: UNOが得意な女性 エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解																																																																		
タイトル	Unit 7																																																																		
フリー欄	Basketball Superstar エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解																																																																		

	タイトル	Unit 8
	フリー欄	Creating Eco-Accessories : 環境にやさしいアクセサリ エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解
	第10回	
	タイトル	Unit 9
	フリー欄	Secret Education for Women: 女子教育  エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解
	第11回	
	タイトル	Unit 10
	フリー欄	Drones at the Beach: ドローンの活用法  エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解
	第12回	
	タイトル	Unit 11
	フリー欄	Flying High School: 航空学校とは?  エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解
	第13回	
	タイトル	Unit 12
	フリー欄	From TikTok to the Art Gallery:TikTokから美術展  エクササイズの解答 聞き取り、英文の読解
	第14回	
	タイトル	討論
	フリー欄	時事問題について、自分なりの意見を出し合い、討論をおこなう。
	第15回	
	タイトル	授業のまとめ
	フリー欄	授業を概観するまとめ
授業概要	世界が抱えている諸問題についてCNNが学生向けに編集したニュースを文章化したものを読んでいく。毎時、予習をしてきてもらい、エクササイズの解答・英文読解を通して英文の流れをつかむことを目指す。授業中に英文の解説を行い、英文の内容を理解できるようにする。扱っているトピックの事象に関心を持ち、自分なりの意見を持てるようにする。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	授業の前に、次週に扱う課を指示します。必ず、読んできてください。わからない単語があれば辞書をひき、確認してきてください。授業中に要約・問題の解答を提出してもらいます。	
テキスト	Fuyuhiko Sekido, Masato Kogure 他 _CNN 10 Student News Vol. 13_ Asahi Press. 2,420円。	
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	時事問題は、これまで馴染みのなかった英単語が多数出てきたり、読んだことのない内容の英文になります。しっかりと予習をして臨んでください。常に時事問題に興味をもって取り組むことが必要です。状況によっては、遠隔授業に切り替わることもあり得ます。その際はTeamsを利用します。	
評価方法	授業内で行うクイズ (30%) 学期末試験 (70%)。 試験期間中に遠隔授業に切り替わった場合には、試験は行わず、レポート等で対応する。 全授業回数のおよそ三分の二以上の出席を求めます。	
参考文献	英和辞書 (紙でも電子辞書でも可)。高校時代に使用していた辞書で構いません。必ず持参してください。英文の時事問題を読もうとする場合、スマートフォンの辞書では対応できないことが多いです。必ず、英和辞典を使用してください。	
備考	状況によって、Teamsを作成し、そのなかにあるノートブック機能を活用して授業を進めていきます。	

講義科目名称： イギリス文学史 (20710)

授業コード： 20710

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2	2	選択必修・教職必修
担当教員			
小林 亜希			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
開放 (教養)			授業形態：講義
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	1. イギリス文学において使用されている様々な英語表現について理解し、記述できる。 2. イギリス文学で描かれている国・地域の文化・歴史について理解し、記述できる。 3. 代表的なイギリス文学について理解し、記述できる。		
授業計画	第1回		
	タイトル	ガイダンスーイギリス文学とは何か	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	古英語・中英語の文学	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	エドモンド・スペンサーとウィリアム・シェイクスピア	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	ウィリアム・シェイクスピア：悲劇と喜劇	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	清教徒革命～王政復古期の文学（1）：欽定訳聖書、ジョン・ミルトン	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	清教徒革命～王政復古期の文学（2）ージョン・ダン、アレクザンダー・ポープ	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	小説の誕生と成長（1）ーアフラ・ベイン	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	小説の誕生と成長（2）ーデフォー、スウィフト	
	フリー欄		
	第9回		
	タイトル	ロマン主義の詩ーワーズワース、P・Bシェリー、ジョン・キーツ	
	フリー欄		
	第10回		
	タイトル	ジェーン・オースティンの小説	
	フリー欄		
	第11回		
	タイトル	ヴィクトリア朝の小説（1）ブロンテ姉妹を中心に	
	フリー欄		
	第12回		
	タイトル	ヴィクトリア朝の小説（2）ーブロンテ姉妹を中心に	
	フリー欄		

	第13回
	タイトル モダニズムの文学（1）—ジェイムズ・ジョイスを中心に
	フリー欄
	第14回
	タイトル モダニズムの文学（2）—ヴァージニア・ウルフを中心に
	フリー欄
	第15回
	タイトル 第二次大戦後の文学
	フリー欄
授業概要	イギリス文学の歴史を、時代毎に代表的な作家のテキスト（詩、演劇、小説）の一部を読みながら概観します。英語表現に留意することは勿論ですが、文学テキストだけでなく、映画や絵画等の多様な文化表象を手がかりに、歴史と文学のダイナミズムを捉えてみたいと思います。
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の巻末にあるイギリス文学史概説を読んでおくこと。</li> <li>・できるだけ教科書にある英語の原文に挑戦すること。</li> </ul>
テキスト	<p>清宮倫子著『よくわかるイギリスの文学—The Poetry and Prose of British Literature』（南雲堂）（ISBN:9784523177098）2200円＋税</p> <p>大学内の購買部で購入することができます。</p>
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回リアクション・ペーパーに感想や質問を書いてもらい、次の授業で受講者の関心に応えることで、双方向的な授業を目指します。</li> <li>・資料配布等のためにTeamsを利用することがあります。チーム「イギリス文学史」に参加してください。</li> <li>・質問はリアクション・ペーパーでも対応しますが、個別に質問したいときはTeamsもしくはkobayashi-a@yone.ac.jpまで問い合わせてください。</li> <li>・毎回参考図書を紹介します。積極的に図書館を活用してください。</li> </ul>
評価方法	レポート（100%）。授業回数3分の2以上の出席が条件です。
参考文献	
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2	2	選択必修・教職必修
担当教員			
渡邊 真由美			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
開放 (教養)	高大連携開放科目※	※高校生男女が受講する場合 有	授業形態：講義
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>アメリカ合衆国における文学の成立と発展を歴史的に学び、英語で書かれた文学表現の理解を深め、アメリカ合衆国の文化について理解することで中学校及び高等学校における外国語の授業に生かすことができるようにする。</p> <p>1) 文学作品において使用されている様々な英語表現について理解している。 2) 文学作品で描かれている、英語が使われている国・地域の文化について理解している。 3) 英語で書かれた代表的な文学について理解している。</p>		
授業計画	第1回		
	タイトル	イントロダクション	
	フリー欄	授業の進め方、評価方法の説明。アメリカの地理的特質について	
	第2回		
	タイトル	植民地時代の文学および独立革命期の文学	
	フリー欄	説教文学とベンジャミン・フランクリン 政治的パンフレット、フィリップ・フレノーなど	
	第3回		
	タイトル	アメリカン・ルネサンス	
	フリー欄	ラルフ・ウォルド・エマソン、ヘンリー・デイヴィッド・ソロー、ハーマン・メルヴィル ウォルト・ホイットマン、	
	第4回		
	タイトル	19世紀女性文学	
	フリー欄	女性の地位向上運動の始まり マーガレット・フルー、ストウ夫人、エミリー・ディキンソン	
	第5回		
	タイトル	南北戦争の展開と西部開拓	
	フリー欄	南北戦争の概観、西部開拓 マーク・トウェインの西部文学	
	第6回		
	タイトル	リアリズムの登場とその発展	
	フリー欄	ヘンリー・ジェイムズとウィリアム・ディーン・ハウエルズ	
	第7回		
	タイトル	自然主義文学の登場	
	フリー欄	大資本家の登場の社会進化論 マックレーカーの登場 フランク・ノリス、ステイーヴン・クレイン、アップトン・シンクレア、 セオドア・ドライサー	
	第8回		
	タイトル	地域主義文学と女性作家	
	フリー欄	セアラ・オウン・ジュエット、ウィラ・キャザー シカゴ・ルネサンス	
	第9回		
	タイトル	「失われた世代」	
	フリー欄	第一次世界大戦の影響とジャズ・エイジ スコット・フィッツジェラルド、アーネスト・ヘミングウェイ、ウィリアム・フォークナー	
	第10回		

	タイトル	大恐慌時代の文学
	フリー欄	プロパガンダ文学と連邦美術計画
	第11回	
	タイトル	南部文学
	フリー欄	フォークナー、ジェイムズ・キャブル、トルーマン・カポーティ
	第12回	
	タイトル	50年代とビート・ジェネレーション
	フリー欄	J.D. サリンジャーとジャック・ケルアック、アレン・ギンズバーグ
	第13回	
	タイトル	ポスト・モダンの文学
	フリー欄	ウラジミール・ナボコフ、ラルフ・エリスン、ソール・ベロー、トマス・ピンチョン、カート・ヴォネガット
	第14回	
	タイトル	マイノリティの文学
	フリー欄	ユダヤ系・アジア系・ネイティヴ・アメリカンの文学
	第15回	
	タイトル	現代の文学
	フリー欄	何をどのように描こうとするのか、現代文学のテーマを考える
授業概要	アメリカ文学の成立期から現代までの展開を概観する。アメリカ文学をアメリカ合衆国の歴史的背景と関連付け、白人男性によって書かれたものだけでなく、女性やもと黒人奴隷、インディアンなどによって書かれた文学作品からアメリカ合衆国における多様性を学ぶ。また、適宜、配布予定の著名な文学作品の抜粋を読み、英語表現を学ぶ。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	授業中に紹介した本をできる限り翻訳でもよいので読むこと。	
テキスト	授業内で資料を配布する。	
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	文学の歴史だけでなく、アメリカ社会や文化の一現象としての文学、という視点をもって授業に臨んでください。授業のなかで紹介した作品のうち一作でもよいので、実際に読んで、アメリカ文学が内包している問題を考えてみてください。	
評価方法	毎回、小レポートを提出してもらいます（出席の代わりとなるもの）。全授業回数の3分の2回以上の提出を求めます。成績評価は、この小レポートで行います。（100%）遠隔授業に切り替わった場合、teamsを利用して授業を行います。	
参考文献	亀井俊介『アメリカ文学史』（全3巻）南雲堂、渡辺利雄『講義 アメリカ文学史』（入門編）研究社	
備考	teams等を活用して毎回のレポートを提出してもらいます。遠隔授業に切り替わった場合、授業内容・方法・試験について適宜変更します。その場合の指示はteamsを通して行います。	

講義科目名称： イギリス文学作品研究 (20730)

授業コード： 20730

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2	2	選択必修
担当教員			
小林 亜希			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
開放 (教養)			授業形態：講義・演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>1. 三つの文学ジャンル (詩、演劇、小説) を読むことを通して文学テキストを多様なコンテキストから解釈する方法を学び、イギリスの思想、歴史、文化についての基本的な理解を深め、記述できる。</p> <p>2. イギリス文学において使用されている様々な英語表現について理解し、記述できる。</p> <p>3. イギリス文学で描かれている国・地域の文化について理解し、記述できる。</p> <p>4. 代表的なイギリス文学について理解し、記述できる。</p>																																																																							
授業計画	<p>第1回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">授業ガイダンス：「解釈」とは何か</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第2回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">詩①—BlakeとWordsworth：ロマン主義の詩を読む</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第3回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">詩②—Blake の The Chimney Sweeper を読む</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第4回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">詩③—詩と絵画について</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第5回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">詩④—Shakespeare の Sonnet を読む</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第6回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">演劇①—演劇とは何か</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第7回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">演劇②—映画『ハムレット』の鑑賞と分析：物語の構造</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第8回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">演劇③—映画『ハムレット』の鑑賞と分析：独白の効果</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第9回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">演劇④—『ハムレット』における「理性」と「情熱」</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第10回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">演劇⑤—『ハムレット』における「生きるべきか、死ぬべきか」の意味</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第11回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">『ピーター・パンとウェンディ』を読む①—児童文学とは何か</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第12回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">『ピーター・パンとウェンディ』を読む②—「語り」について</td> </tr> </table>			タイトル	授業ガイダンス：「解釈」とは何か		フリー欄			タイトル	詩①—BlakeとWordsworth：ロマン主義の詩を読む		フリー欄			タイトル	詩②—Blake の The Chimney Sweeper を読む		フリー欄			タイトル	詩③—詩と絵画について		フリー欄			タイトル	詩④—Shakespeare の Sonnet を読む		フリー欄			タイトル	演劇①—演劇とは何か		フリー欄			タイトル	演劇②—映画『ハムレット』の鑑賞と分析：物語の構造		フリー欄			タイトル	演劇③—映画『ハムレット』の鑑賞と分析：独白の効果		フリー欄			タイトル	演劇④—『ハムレット』における「理性」と「情熱」		フリー欄			タイトル	演劇⑤—『ハムレット』における「生きるべきか、死ぬべきか」の意味		フリー欄			タイトル	『ピーター・パンとウェンディ』を読む①—児童文学とは何か		フリー欄			タイトル	『ピーター・パンとウェンディ』を読む②—「語り」について	
タイトル	授業ガイダンス：「解釈」とは何か																																																																							
フリー欄																																																																								
タイトル	詩①—BlakeとWordsworth：ロマン主義の詩を読む																																																																							
フリー欄																																																																								
タイトル	詩②—Blake の The Chimney Sweeper を読む																																																																							
フリー欄																																																																								
タイトル	詩③—詩と絵画について																																																																							
フリー欄																																																																								
タイトル	詩④—Shakespeare の Sonnet を読む																																																																							
フリー欄																																																																								
タイトル	演劇①—演劇とは何か																																																																							
フリー欄																																																																								
タイトル	演劇②—映画『ハムレット』の鑑賞と分析：物語の構造																																																																							
フリー欄																																																																								
タイトル	演劇③—映画『ハムレット』の鑑賞と分析：独白の効果																																																																							
フリー欄																																																																								
タイトル	演劇④—『ハムレット』における「理性」と「情熱」																																																																							
フリー欄																																																																								
タイトル	演劇⑤—『ハムレット』における「生きるべきか、死ぬべきか」の意味																																																																							
フリー欄																																																																								
タイトル	『ピーター・パンとウェンディ』を読む①—児童文学とは何か																																																																							
フリー欄																																																																								
タイトル	『ピーター・パンとウェンディ』を読む②—「語り」について																																																																							

	フリー欄	
	第13回	
	タイトル	『ピーター・パンとウェンディ』を読む③—ジェンダー批評、ポストコロニアル批評
	フリー欄	
	第14回	
	タイトル	『ピーター・パンとウェンディ』を読む④—エンディングを精読する
	フリー欄	
	第15回	
	タイトル	まとめ：レポートの書き方
	フリー欄	
授業概要	詩、演劇、小説の中から、それぞれ代表的な作品を取り上げ、文学的修辞法や文化的コンテキストに留意しながら、テキストの一部を読み進めていきます。講読と講義を織り交ぜながら進める予定です。扱う詩人は、Shakespeare、Wordsworth、Blakeです。演劇は、William Shakespeare (1564-1616) のHamlet(1602) を扱い、映画を見ながら分析します。小説は、James Matthew Barrieの Peter and Wendy(1911)を扱います。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	翻訳でもよいので、授業で扱う文学作品を通読すること。	
テキスト	適宜資料を配付します。	
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料配布等のためにTeamsを利用することがあります。Office365のアカウントでTeamsにログインし、チーム「イギリス文学作品研究」に参加してください。</li> <li>・扱うテキストは事前に配布しますので、予習して授業に臨んで下さい。</li> <li>・翻訳でよいので、事前に『ハムレット』と『ピーター・パンとウェンディ』を通読することをお勧めします。</li> <li>・毎回リアクション・ペーパーを配布するので、疑問・質問を書いてください。次週の授業で答えます。</li> <li>・受講者の関心・理解に応じて、進度、内容は変更することがあります。</li> </ul>	
評価方法	レポート（100%）。授業回数の3分の2以上の出席が条件です。	
参考文献	1. 平井 正穂(編)『イギリス名詩選』（岩波文庫）1,012円（ISBN:400322731X） 2. ウィリアム・シェイクスピア（河合祥一郎訳）『新訳ハムレット』（角川文庫）528円（ISBN:4042106145） 3. ジェームズ・M・バリー（大久保寛訳）『ピーター・パンとウェンディ』（新潮文庫）605円（ISBN:410210402X）	
備考		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2	2	選択必修
担当教員			
渡邊 真由美			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：講義
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	20世紀アメリカ人作家によって書かれた短篇小説を読み、文学の形式を理解し、社会背景がどのように作品のなかに反映されているのかを理解できるようにする。		
授業計画	第1回		
	タイトル	イントロダクション	
	フリー欄	授業の進め方、評価方法について レポートの書き方の説明  資料配布	
	第2回		
	タイトル	"Breakfast" (1) pp. 9-10.	
	フリー欄	John Steinbeckについて。1930年代のアメリカ合衆国の社会的状況を概観する。	
	第3回		
	タイトル	"Breakfast" (2) pp. 10-12	
	フリー欄	登場人物の背景を考える。	
	第4回		
	タイトル	"Breakfast" (3) pp. 12-14	
	フリー欄	朝食をとるといふ行為が何を意味するのか、考えてみる。	
	第5回		
	タイトル	"A Tree of Night" (1) p. 56	
	フリー欄	Truman Capoteについて。現代のゴシック小説とは？	
	第6回		
	タイトル	"A Tree of Night" (2) pp. 57-8	
	フリー欄	主人公Kayは何を感じたのか、それはどうして起こった感情なのかを考える。	
	第7回		
	タイトル	"A Tree of Night" (3) pp. 59-60	
	フリー欄	アメリカにおけるfreaksとは？	
	第8回		
	タイトル	"A Tree of Night" (4) pp. 61-2	
	フリー欄	Kayの感じる居心地の悪さとは？	
第9回			
タイトル	"A Tree of Night" (5) pp. 63-4		
フリー欄	会話を読み解く。		
第10回			
タイトル	"A Tree of Night" (6) pp. 65-6		
フリー欄	自己を投影するとは？		
第11回			
タイトル	"A Tree of Night" (7) pp. 67-8		
フリー欄	Kayの心情の変化を考える。		
第12回			

	タイトル	"A Tree of Night"(8) pp. 69-70
	フリー欄	主人公の精神的変化を読み取る
	第13回	
	タイトル	"A Tree of Night"(9) pp. 71-2
	フリー欄	Kayの感じる恐怖とは？
	第14回	
	タイトル	"A Tree of Night"(10) pp. 73
	フリー欄	樹とはいったい何か？
	第15回	
	タイトル	"A Tree of Night"(11)
	フリー欄	結末についてどう考えるか、を討論する。
授業概要	ジョン・スタインベック「朝食」(1938)、トルーマン・カポーティの「夜の樹」(1949)を読んでいく。毎回、授業で扱う箇所について、重要な構文や文学的的技巧について解説を行い、物語の内容について理解していく。英文について理解が必要と思われる際には、指名し、訳をつけてもらう。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	次回に読む箇所を指定します。必ず読んでくること。わからない単語があれば調べ、その箇所に描かれている場面がどのような情景なのか、自分はどのように感じるのかを言語化できるようにしておくこと。	
テキスト	授業中に配布します。	
受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)	授業では、予習をしてきてもらって、それぞれの感想を発表してもらいます。必ず読んできてください。また、適宜指名して訳をつけてもらいます(毎授業、1回程度)。	
評価方法	それぞれの作品についてレポートを提出してもらいます(各40%)。授業内での積極的な発言や予習状況(20%)。全授業回数のおよそ三分の二以上の出席を求めます。	
参考文献	英和辞典。必ず授業に持参すること。スマートフォンの辞書では、英語の小説を読み切ることは難しい。高校で使用していた辞書で構わない。	
備考	状況によっては遠隔授業になりえます。遠隔授業になった場合には、teamsを利用して授業を行い、適宜内容等について変更します。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	1・2	2	選択必修
担当教員			
相田 明子			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
開放（教養）			授業形態：講義
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	英語圏の児童文学に関する基礎的知識を習得する。そのうえで、文学作品（子供向けの歌や詩、フェアリーテイルや小説等）を読み、理解したことの要点をまとめ、自分の考えを伝えることが出来る。		
授業計画	第1回		
	タイトル	英語圏の児童文学の成立と発展について概要を学ぶ	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Mother Gooseの詩を読むための基本的な知識を学ぶ	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	Mother Gooseを読む ①数字・アルファベット・曜日・天候	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	Mother Gooseを読む ②和訳を付けながら文化背景を理解する	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	Mother Goose ③グループワークと発表（歌・手遊び・読みきかせ）	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	シャルル・ペロー ①赤ずきんを読む	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	シャルル・ペロー ②シンデレラを読む	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	シャルル・ペロー ③フェアリーテイル比較	
	フリー欄		
	第9回		
	タイトル	絵本作家と挿絵画家の登場	
フリー欄			
第10回			
タイトル	Alice in Wonderland ①映像と挿絵		
フリー欄			
第11回			
タイトル	Alice in Wonderland ②作品と文化背景		
フリー欄			
第12回			
タイトル	Alice in Wonderland ③作品中にちりばめられたMother Goose		
フリー欄			
第13回			

	タイトル	Mary Poppins ①作品と文化背景 (ナニー)
	フリー欄	
	第14回	
	タイトル	Mary Poppins ②読解
	フリー欄	
	第15回	
	タイトル	これまでのふりかえりとまとめ
	フリー欄	
授業概要	児童文学に関する基礎的知識を学修する。そのうえで、英語で書かれた児童文学作品（詩やおとぎばなし、小説）を読んだり歌ったりしながら、理解を深める。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	指示があった箇所の和訳、読みの練習など	
テキスト	授業で配布する	
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	グループにわかれて詩や小説を和訳する機会が多くあります。必ず辞書を準備してください。（スマートフォンの辞書機能は不可） また、Mother Gooseは、リズムや韻を意識しながら実際に詩を声に出して読んだり歌ったりします。積極的にアクティビティを楽しむ姿勢がもとめられます。	
評価方法	①授業内でのアクティビティ30% ②発表20% ③ふりかえりのレポート50%	
参考文献		
備考	辞書を必ず準備してください。授業中のスマートフォンの辞書機能利用は不可とします。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2	2	選択必修
担当教員			
小林 亜希			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
開放 (外国語)			授業形態：講義・演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>1. 英語圏の短編小説を読むことによって、基礎的な英語の読解力を涵養する。</p> <p>2. 基本的な語彙力と文法力を習得し、英文読解に活用できる。</p> <p>3. 英語圏の文化、歴史、修辞技法等に留意しながらコンテキストを理解し、文学テキストを理解することができる。</p> <p>4. テキストに即して自分の解釈を発表し、記述できる。</p>																																																		
授業計画	<p>第1回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>授業ガイダンス</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第2回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>Winnie-the-Poohの冒頭を読むー英文読解の基礎</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第3回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>The Invisible Japanese Gentlemenを読む①ー準動詞を捉える</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第4回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>The Invisible Japanese Gentlemenを読む②ー空間を捉える</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第5回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>The Invisible Japanese Gentlemen を読む③ー会話を捉える</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第6回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>The Invisible Japanese Gentlemen を読む④ーアイロニーを捉える</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第7回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>The Invisible Japanese Gentlemen の解釈について</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第8回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>Araby を読む①ー構文を捉える</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第9回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>Araby を読む②ーimagery を捉える</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第10回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>Araby を読む③ー語りの効果</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第11回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>Araby を読む④ー焦点化について</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table> <p>第12回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td>Araby を読む⑤ー自由間接話法について</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td></td> </tr> </table>			タイトル	授業ガイダンス	フリー欄		タイトル	Winnie-the-Poohの冒頭を読むー英文読解の基礎	フリー欄		タイトル	The Invisible Japanese Gentlemenを読む①ー準動詞を捉える	フリー欄		タイトル	The Invisible Japanese Gentlemenを読む②ー空間を捉える	フリー欄		タイトル	The Invisible Japanese Gentlemen を読む③ー会話を捉える	フリー欄		タイトル	The Invisible Japanese Gentlemen を読む④ーアイロニーを捉える	フリー欄		タイトル	The Invisible Japanese Gentlemen の解釈について	フリー欄		タイトル	Araby を読む①ー構文を捉える	フリー欄		タイトル	Araby を読む②ーimagery を捉える	フリー欄		タイトル	Araby を読む③ー語りの効果	フリー欄		タイトル	Araby を読む④ー焦点化について	フリー欄		タイトル	Araby を読む⑤ー自由間接話法について	フリー欄	
タイトル	授業ガイダンス																																																		
フリー欄																																																			
タイトル	Winnie-the-Poohの冒頭を読むー英文読解の基礎																																																		
フリー欄																																																			
タイトル	The Invisible Japanese Gentlemenを読む①ー準動詞を捉える																																																		
フリー欄																																																			
タイトル	The Invisible Japanese Gentlemenを読む②ー空間を捉える																																																		
フリー欄																																																			
タイトル	The Invisible Japanese Gentlemen を読む③ー会話を捉える																																																		
フリー欄																																																			
タイトル	The Invisible Japanese Gentlemen を読む④ーアイロニーを捉える																																																		
フリー欄																																																			
タイトル	The Invisible Japanese Gentlemen の解釈について																																																		
フリー欄																																																			
タイトル	Araby を読む①ー構文を捉える																																																		
フリー欄																																																			
タイトル	Araby を読む②ーimagery を捉える																																																		
フリー欄																																																			
タイトル	Araby を読む③ー語りの効果																																																		
フリー欄																																																			
タイトル	Araby を読む④ー焦点化について																																																		
フリー欄																																																			
タイトル	Araby を読む⑤ー自由間接話法について																																																		
フリー欄																																																			

	フリー欄	
	第13回	
	タイトル	Araby を読む⑥—イギリスとアイルランドについて
	フリー欄	
	第14回	
	タイトル	Araby の解釈について
	フリー欄	
	第15回	
	タイトル	まとめ：レポートの書き方について
	フリー欄	
授業概要	イギリスの作家グラハム・グリーン (Graham Greene, 1904-1991) の短編小説 'The Invisible Japanese Gentlemen' (1965) とアイルランドの作家ジェイムズ・ジョイス (James Joyce, 1882-1941) の 'Dubliners' (1914) に所収されている短編小説 'Araby' を精読します。一文ずつ訳読しながら読み進め、重要な英語表現、語りの技法、文化的背景を解説します。また、物語論 (Narratology) をはじめとする文学理論についても適宜紹介します。最終的に、文学テキストの解釈について考察することが目的です。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回指定された箇所について、辞書を丁寧に引いて予習すること。</li> <li>・授業で解説した文法事項について、辞書や文法書を活用して復習すること。</li> </ul>	
テキスト	ハンドアウトを配布します。	
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料配布等のためにTeamsを利用することがあります。Office365のアカウントでTeamsにログインし、チーム「英米文学講読」に参加してください。</li> <li>・辞書を丁寧に引いて予習してください。</li> <li>・図書館とインターネットを積極的に活用してください。</li> <li>・毎回リアクション・ペーパーを配布するので、質問を書いてください。次週の授業で答えます。</li> <li>・受講者の関心・理解に応じて、進度は変わることがあります。</li> </ul>	
評価方法	授業での発表 (20%) レポート (80%)。授業回数の3分の2以上の出席が条件です。	
参考文献	参考書を適宜紹介します。	
備考		

講義科目名称： 英米文学基礎演習 I (20810)

授業コード： 20810

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択必修
担当教員			
小林 亜希			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	1. イギリス文学において使用されている様々な英語表現を身につける。 2. 基本的な語彙と文法に留意しながら、英語を正確に読む基礎を身につける。 3. 文化・歴史・修辞技法等に留意しながら、文学テキストを読む基礎を身につけ、記述できる。 4. テキストに即して自分の解釈を発表し、討議できる。		
授業計画	第1回		
	タイトル	授業ガイダンス	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	児童文学とは何か／作者について	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	テキスト精読と議論①—時代背景について	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	テキスト精読と議論②—英文読解の基礎 (a) 文型	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	テキスト精読と議論③—英文読解の基礎 (b) 準動詞	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	テキスト精読と議論④—英文読解の基礎 (c) 関係詞	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	テキスト精読と議論⑤—語りの効果について	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	テキスト精読と議論⑥—キャラクターの役割について	
	フリー欄		
第9回			
タイトル	テキスト精読と議論⑦—モチーフの意味と効果について		
フリー欄			
第10回			
タイトル	テキスト精読と議論⑧—アレゴリーの意味と効果について		
フリー欄			
第11回			
タイトル	テキスト精読と議論⑨—シンボルの意味と効果について		
フリー欄			
第12回			
タイトル	ディケンズ『クリスマス・キャロル』におけるクリスマスの精神		
フリー欄			

	第13回
	タイトル テキスト精読と議論⑩—物語の構造について
	フリー欄
	第14回
	タイトル テキスト精読と議論⑪—レポートの書き方について
	フリー欄
	第15回
	タイトル 授業全体の総括
	フリー欄
授業概要	英国の作家C・S・ルイス (Clive Staples Lewis, 1898-1963) のファンタジー小説『ライオンと魔女と衣装だんす』 (The Lion, the Witch and the Wardrobe, 1950) を精読し、分析します。英語を読むことは勿論ですが、イギリスの文化、キリスト教、ギリシア神話等のコンテキストに留意しながら、読み進めていきます。毎時間担当者を決め、訳読・要約したうえで、疑問点についてみんなで話し合います。
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎回指定された箇所について、辞書を丁寧に引いて予習すること。</li> <li>・ 授業で解説した文法事項について、辞書や文法書を活用して復習すること。</li> </ul>
テキスト	<p>①C. S. Lewis. The Lion, the Witch and the Wardrobe. 研究社, 1970. (ISBN : 9784327068011) 1,760円</p> <p>②土屋京子訳『ライオンと魔女と衣装だんす』 (光文社古典新訳文庫、2016年) (ISBN: 978-4-334-75346-7) 726円</p> <p>大学内の購買部で購入することができます。</p>
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料配布等のためにTeamsを利用することがあります。Office365のアカウントでTeamsにログインし、チーム「英米文学基礎演習Ⅰ」に参加してください。</li> <li>・ 辞書を丁寧に引いて予習してください。</li> <li>・ 図書館とインターネットを積極的に活用してください。</li> </ul>
評価方法	授業での発表 (40%)、レポート (60%)
参考文献	適宜、紹介します。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択必修
担当教員			
渡邊 真由美			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	アメリカ合衆国の文化を歴史的に概観し、そのダイナミックな展開を理解することを目標とします。到達目標は、1、アメリカ合衆国の歴史・政治・経済・文化の展開を理解できる、2、英語を正しく読むことができる、3、テキストの内容を要約し、発表することができる、の3点です。		
授業計画	第1回		
	タイトル	イントロダクション	
	フリー欄	授業の進め方についての説明、アメリカの地理的特徴について	
	第2回		
	タイトル	Chapter 1 ポカホンタス神話 pp. 8-11	
	フリー欄	アメリカの建国神話の意味について学ぶ。テキストの英文を読む。	
	第3回		
	タイトル	映画『ポカホンタス』を見る	
	フリー欄	史実とされるポカホンタスと映像化されたポカホンタスの相違点を考える。	
	第4回		
	タイトル	Chapter 2 丘の上の町 pp. 12-15	
	フリー欄	アメリカにおける宗教の意味を考える。テキストの英文を読む。	
	第5回		
	タイトル	Chapter 3 われら人民 pp. 16-19	
	フリー欄	アメリカ合衆国成立時の重要文書を読む。アメリカ合衆国の成り立ちについて学ぶ。	
	第6回		
	タイトル	Chapter 6 『アンクル・トム的小屋』 pp. 28-31	
	フリー欄	19世紀の大ベストセラーの一部を読む。奴隷制について考える。英文を読む。	
	第7回		
	タイトル	映画 Uncle Tom's Cabinを鑑賞する。	
	フリー欄	奴隷制の残酷さを考える。	
	第8回		
	タイトル	Chapter 8 デパートメント・ストア pp. 36-39	
	フリー欄	pp. 36-39 描出話法について 英文を読む。	
第9回			
タイトル	Chapter 9 摩天楼 pp. 40-43		
フリー欄	英文を読み、小説中で使用される時間の流れについて学ぶ。		
第10回			
タイトル	映画『ティファニーで朝食を』を見る		
フリー欄			
第11回			
タイトル	Chapter 10 ヒッピー pp. 44-47		
フリー欄	20世紀の対抗文化として知られるヒッピーについて考える。		
第12回			

	タイトル	Chapter 11 フォークソング pp. 48-51
	フリー欄	体制への抵抗としてうたわれ続けてきたフォークソングについて理解する。
	第13回	
	タイトル	Chapter 12 健康ブーム pp. 52-55
	フリー欄	英文を読む。
	第14回	
	タイトル	Chapter 13 ユートピアを求めて pp. 56-59
	フリー欄	性革命について理解する。
	第15回	
	タイトル	ディスカッションと レポートの書き方について
	フリー欄	
授業概要	アメリカ合衆国の文化を歴史的に概観するテキストを使用して、アメリカ合衆国成立以前からの文化動向を探っていきます。テキストは、それぞれの重要な出来事についての日本語の解説と英文の文書から構成されていて、英文を正しく読むことに力を入れていきます。授業では、日本語の解説部分を担当者を決めて、概略をまとめてもらいます。さらに、英文テキストについては全員で輪読していきます。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者は、必ず日本語の解説を読んで概要をまとめて、ハンドアウトを作成する。</li> <li>・英文は、全員が読んでくること。</li> <li>・各章が終わったのち、レポートを書く。</li> </ul>	
テキスト	亀井俊介・杉山直子他編著『アメリカの文化を知ろう』南雲堂 2020年。1,700円＋税	
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	アメリカ合衆国は、黒船の訪れ以来、日本にとって政治的・経済的・教育的・文化的・軍事的に常に意識せざるを得ない隣国です。開国後の日本はアメリカ合衆国から多くを学び、米国風のものを取り入れてきましたが、現在では、アメリカ発のものが日本における日常のものになってしまっていて、意識することがなくなっています。アメリカ合衆国とはどういう国なのか、歴史的重要文書を読むことで理解を深め、それぞれが持っているアメリカ観を考え直して欲しいと思っています。	
評価方法	レポート60% 授業への積極的な参加（特別な事情を除いて、授業には毎回出席すること、必ず英文の予習をしてこること、日本語の解説のまとめの報告を3回程度行うこと、等で評価します）40% 全授業回数の三分の二以上の出席を求めます。	
参考文献	亀井俊介・杉山直子他編著『アメリカ文化年表—文化・歴史・政治・経済』南雲堂、2018年。3,500円＋税 英和辞典（スマートフォンの辞書機能は不十分。高校時代に使用した辞書で構わないので、必ず持参すること）	
備考	状況によっては遠隔授業になりうる。遠隔授業になった場合には、適宜授業内容、評価方法を変更します。テキストの購入については授業内で指示します。	

講義科目名称： 英米文学演習 I (20910)

授業コード： 20910

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2	4	選択必修
担当教員			
小林 亜希			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>1. 英語圏の文学において使用されている様々な英語表現を身につける。  2. 基本的な語彙と文法に留意しながら、英語を正確に読む基礎を身につける。  3. 文化・歴史・修辞技法、批評理論等に留意しながら、文学テクストを読む基礎を身につけ、記述できる。  4. テクストに即して自分の解釈を発表し、討議できる。</p>		
授業計画	第1回		
	タイトル	授業ガイダンス	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	講義：多文化を背景とする英文学について	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	Kazuo Ishiguro, 'A Family Supper' (1980)の精読と議論①：語りとは何か	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	Kazuo Ishiguro, 'A Family Supper' (1980)の精読と議論②：幽霊とは何か	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	Kazuo Ishiguro, 'A Family Supper' (1980)の精読と議論③：日本とアメリカ	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	Kazuo Ishiguro, 'A Family Supper' (1980)の精読と議論④：記憶とは何か	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	Ken Liu, 'The Paper Menagerie' (2011)の精読と議論①：ジャンルについて	
	フリー欄		
	第8回		
タイトル	Ken Liu, 'The Paper Menagerie' (2011)の精読と議論②：焦点化について		
フリー欄			
第9回			
タイトル	Ken Liu, 'The Paper Menagerie' (2011)の精読と議論③：親子／世代について		
フリー欄			
第10回			
タイトル	Ken Liu, 'The Paper Menagerie' (2011)の精読と議論④：中国とアメリカ		
フリー欄			
第11回			
タイトル	James Joyce, 'Evelin' (1904)の精読と議論①：語りと焦点化について		

フリー欄	
第12回	
タイトル	James Joyce, 'Evelin' (1904)の精読と議論②：自由間接話法の効果
フリー欄	
第13回	
タイトル	James Joyce, 'Evelin' (1904)の精読と議論③：イギリスとアイルランド
フリー欄	
第14回	
タイトル	James Joyce, 'Evelin' (1904)の精読と議論④：女性の描かれ方
フリー欄	
第15回	
タイトル	前期の振り返りとまとめ
フリー欄	
第16回	
タイトル	授業ガイダンス
フリー欄	
第17回	
タイトル	George Orwell, 'Shooting an Elephant' (1936)の精読と分析①：オーウェルについて
フリー欄	
第18回	
タイトル	George Orwell, 'Shooting an Elephant' (1936)の精読と分析②：フィクションについて
フリー欄	
第19回	
タイトル	George Orwell, 'Shooting an Elephant' (1936)の精読と分析③：植民地主義について
フリー欄	
第20回	
タイトル	George Orwell, 'Shooting an Elephant' (1936)の精読と分析④：イギリスとインド
フリー欄	
第21回	
タイトル	Katherine Mansfield, 'The Garden Party' (1922)の精読と分析①：語りと焦点化
フリー欄	
第22回	
タイトル	Katherine Mansfield, 'The Garden Party' (1922)の精読と分析②：階級について
フリー欄	
第23回	
タイトル	Katherine Mansfield, 'The Garden Party' (1922)の精読と分析③：庭について
フリー欄	
第24回	
タイトル	Katherine Mansfield, 'The Garden Party' (1922)の精読と分析④：死について
フリー欄	
第25回	
タイトル	Hanif Kureishi, 'My Son the Fanatic' (1994)の精読と分析①：20世紀イギリスの移民文学
フリー欄	
第26回	

	タイトル	Hanif Kureishi, 'My Son the Fanatic' (1994)の精読と分析②: ポストコロニアル批評
	フリー欄	
	第27回	
	タイトル	Hanif Kureishi, 'My Son the Fanatic' (1994)の精読と分析③: 親子/世代について
	フリー欄	
	第28回	
	タイトル	Hanif Kureishi, 'My Son the Fanatic' (1994)の精読と分析④: イギリスとパキスタン
	フリー欄	
	第29回	
	タイトル	多文化主義について (議論)
	フリー欄	
	第30回	
	タイトル	全体の総括
	フリー欄	
授業概要	20~21世紀の英語圏の作家たちによる短編小説を精読・分析します。扱うテキストは、Kazuo Ishiguro, 'A Family Supper' (1980)、Ken Liu, 'The Paper Menagerie' (2011)、James Joyce, 'Evelin' (1904)、George Orwell, 'Shooting an Elephant' (1936)、Katherine Mansfield, 'The Garden Party' (1922)、Hanif Kureishi, 'My Son the Fanatic' (1994)です。二つ (あるいは、複数) の文化の中で揺れ動く人間の「感情」をテーマに、他者理解について考察することが目的です。授業では一定量を訳読・要約したうえで、テキストの解釈についてみんなで議論します。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回指定された箇所について、辞書を丁寧に引いて予習すること。</li> <li>・指定された範囲に留まらず、テキストを読み進めておくこと。</li> </ul>	
テキスト	授業内でコピーを配布します。	
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料配布等のためにTeamsを利用することがあります。Office365のアカウントでTeamsにログインし、チーム「英米文学演習 I」に参加してください。</li> <li>・受講者との双方向的な授業を展開できるよう心がけたいと思います。</li> <li>・予習する際には辞書を引くだけでなく、図書館やインターネットを積極的に活用してください。</li> </ul>	
評価方法	レポート (50%)、授業中の発表 (50%)。授業回数の3分の2以上の出席が条件です。	
参考文献	適宜、紹介します。	
備考		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2	4	選択必修
担当教員			
渡邊 真由美			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	アメリカ自然主義文学作家として知られるTheodore Dreiserの「Jennie Gerhardt」(1911)を読む。英語で書かれた文学を正しく読めるようになること、19世紀後半のアメリカ社会の状況を理解できるようになること、アメリカで女性が一人で生きていくことの困難さを理解できるようになること、を目標とします。		
授業計画	第1回		
	タイトル	イントロダクション	
	フリー欄	授業の進め方、評価方法などについての説明。 19世紀末の時代背景についての解説。Theodore Dreiserとアメリカ自然主義について。	
	第2回		
	タイトル	作品講読 Chap. 1-2	
	フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。訳の検討を行う。	
	第3回		
	タイトル	作品講読 Chap. 3-4	
	フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。訳の検討を行う。	
	第4回		
	タイトル	作品講読 Chap. 5-6	
	フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。訳の検討を行う。	
	第5回		
	タイトル	作品講読 Chap. 7-8	
	フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所を検討。	
	第6回		
	タイトル	作品講読 Chap. 9-10	
	フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所を検討。	
	第7回		
	タイトル	作品講読 Chap. 11-12	
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所を検討。		
第8回			
タイトル	作品講読 Chap. 13-14		
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所を検討。		
第9回			
タイトル	作品講読 Chap. 15-16		
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所を検討。		
第10回			
タイトル	作品講読 Chap. 17-18		
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所を検討。		

第11回	
タイトル	作品講読 Chap. 19-20
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。
第12回	
タイトル	作品講読 Chap. 21-22
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。
第13回	
タイトル	作品講読 Chap. 23-24
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。
第14回	
タイトル	作品講読 Chap. 25-26
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。
第15回	
タイトル	作品講読 Chap. 27-28
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。
第16回	
タイトル	作品講読 Chap. 29-30
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。
第17回	
タイトル	作品講読 Chap. 31-32
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。
第18回	
タイトル	作品講読 Chap. 33-34
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。
第19回	
タイトル	作品講読 Chap. 35-36
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。
第20回	
タイトル	作品講読 Chap. 37-38
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。
第21回	
タイトル	作品講読 Chap. 39-40
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。
第22回	
タイトル	作品講読 Chap. 41-42
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。
第23回	
タイトル	作品講読 Chap. 43-44
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。
第24回	
タイトル	作品講読 Chap. 45-47
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。

第25回	
タイトル	作品講読 Chap. 48-50
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。
第26回	
タイトル	作品講読 Chap. 51-53
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。
第27回	
タイトル	作品講読 Chap. 54-56
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。
第28回	
タイトル	作品講読 Chap. 57-59
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。
第29回	
タイトル	作品講読 Chap. 60-62+“In Passing”
フリー欄	担当者を決め、授業内であらすじを紹介し、注目した点について発表する。全員でその点についてディスカッションする。翻訳箇所の検討。
第30回	
タイトル	テーマ発表
フリー欄	批評の読み方について。レポートの書き方について。
授業概要	一回の授業で1-3章分を読んでいく。参加者は分担を決めて、内容をまとめ、授業内で議論すべき点を整理する。毎回、英語の翻訳箇所を指示するので、その部分についての訳の検討を行う。
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	全員が授業で読む部分を読んで授業に参加し、描かれている内容について自分の考えを明確にできるようにしておくこと。また、訳出する箇所を指定するので、必ず訳を作成していただくこと。学年末にはレポートを提出してもらう。
テキスト	Theodore Dreiser, <i>Jennie Gerhardt</i> . Moncreiffe Press, 1911. ISBN: 979-8393214142. もしくは、Project Gutenbergで無料で読むことができます。 ご自身でダウンロードしてください。 <a href="https://www.gutenberg.org/ebooks/28988">https://www.gutenberg.org/ebooks/28988</a>
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	ドライサーの実姉をモデルとした小説です。現在でいうところの「シングル・マザー」となった女性がどのように生き抜いていくのかを描いています。女性一人で生きていくことの困難さを読み解いてください。
評価方法	授業への積極的な参加（授業に毎回参加すること、および作品をきちんと読み、感想を発表できるようにしていること、訳を毎回作ってくること、で評価します） 30% 学年末レポート 70% 25回以上、授業に出席した場合にのみ単位の認定を行う。
参考文献	英和辞典（現在使用しているものでかまわない）
備考	遠隔授業に切り替わった場合には、teamsを通して授業を行います。授業内容についても変更する場合があります。

講義科目名称： 英語学基礎演習 I (21010)

授業コード： 21010

英文科目名称： Freshman Seminar of English Linguistics I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択必修
担当教員			
北山 長貴			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の音声、語彙、統語（文）についての基礎的内容の理解をテーマとします。</li> <li>・英文を的確に読むための構文が理解でき、正確な内容把握ができることを到達目標とします。</li> </ul>		
授業計画	第1回		
	タイトル	はじめに	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Why Language? (P. 1～3)	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	Why Language? (P. 4～6)	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	Why Language? (P. 7～9)	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	How did speech Begin? (P. 10～12)	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	How did speech Begin? (P. 13～15)	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	How did speech Begin? (P. 16～17)	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	Could We Get Along Without Speech? (P. 18～20)	
	フリー欄		
第9回			
タイトル	Could We Get Along Without Speech? (P. 21～23)		
フリー欄			
第10回			
タイトル	Could We Get Along Without Speech? (P. 24～25)		
フリー欄			
第11回			
タイトル	What Is Language Made Up Of? (P. 26～28)		
フリー欄			
第12回			
タイトル	What Is Language Made Up Of? (P. 29～31)		
フリー欄			

	第13回
	タイトル What Is Language Made Up Of? (P. 32～34)
	フリー欄
	第14回
	タイトル Language Helps Everybody (P. 35～37)
	フリー欄
	第15回
	タイトル Language Helps Everybody (P. 38～40)
	フリー欄
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語学をテーマに基本的な内容を平易な英語で書かれたテキストを使いゼミを行います。</li> <li>・英語という言語を客観的に分析するのが英語学です。</li> <li>・具体的には音声学（発音）と形態論（単語）について勉強します。</li> <li>・また、英語の語法や歴史的背景も学びます。</li> <li>・特に英語の「親戚」であるヨーロッパ（インド・ヨーロッパ語族）の言語にも少し触れます。</li> <li>・毎回、一人一行ごとの輪読をして、英語の「構文」を正確に理解する練習をします。</li> </ul>
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門用語等の分からない言葉を辞書や関連図書、ネット等を利用して事前に調べておいて下さい。</li> <li>・翌週の学習内容の範囲を指定するので、その該当箇所を予め読み、理解してきて下さい。</li> <li>・授業中にわからなかった語句の意味を調べて下さい。</li> </ul>
テキスト	“All About Language” by Mario Pei.1,200円【初回授業時に購入方法を説明します】
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の興味を引くように身近な事例を多く取り入れながら講義を進めていきます。</li> <li>・英語の構文を理解することを目的として英語を精読します。</li> <li>・授業で伝えたいことや修得して欲しいことを明確に伝えます。</li> </ul>
評価方法	授業への参加度（積極性）（50%）、期末レポート課題（50%）
参考文献	
備考	

講義科目名称： 英語学基礎演習Ⅱ (21020)

授業コード： 21020

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択必修
担当教員			
松井 真人			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	認知言語学の理論的枠組みで、英語と日本語の意味及び文法の様々な側面について理解すること。		
授業計画	第1回		
	タイトル	オリエンテーション (認知言語学とはどのような言語学か?)	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	空はなぜ青いのか?	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	「ものの見方」と意味	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	プロトタイプ	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	抽象化とスキーマ	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	イメージ・スキーマ	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	意味のネットワーク	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	メタファー	
	フリー欄		
	第9回		
	タイトル	メトニミー	
フリー欄			
第10回			
タイトル	概念メタファー		
フリー欄			
第11回			
タイトル	方向性のメタファー：「上下」のメタファー		
フリー欄			
第12回			
タイトル	「色」とことば		
フリー欄			
第13回			

	タイトル	構文と意味
	フリー欄	
	第14回	
	タイトル	ことばのダイナミズム
	フリー欄	
	第15回	
	タイトル	ことば、文化、普遍性
	フリー欄	
授業概要	<p>認知言語学の基本的な考え方は、言語の仕組みには人間の認知（心の働き）が反映しているというものである。この授業では、このような認知言語学的な視点から、英語と日本語の意味や文法の諸相を考察していく。授業は演習形式で行う。毎回、当番の学生がテキストの内容の要約を発表し、それに対して担当教員が解説を加える。最後に内容について全員で議論する。</p>	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	<p>予習として、次の授業で学習するテキストの範囲をよく読み、わからない語句を辞（事）典等で調べてくること。そしてテキストの内容に関する自分の意見や疑問点を明確にしておくこと。</p>	
テキスト	<p>谷口一美（著）『学びのエクササイズ 認知言語学』ひつじ書房 1,320円（税込） ISBN: 9784894762824</p>	
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	<p>英語や日本語の具体例を数多く挙げながら、言語と認知の関わりについて深く考えていきたい。授業では、できるだけ発言しやすい雰囲気を作りたいと思う。受講生の皆さんは授業の前にテキストをよく読み、辞（事）典等で調べてもわからない点は遠慮なく質問してほしい。</p>	
評価方法	<p>授業への参加度30%、テキストの要約発表の充実度30%、学期末レポート40%</p>	
参考文献	<p>授業中に適宜紹介する。</p>	
備考		

講義科目名称： 英語学演習 I (21110)

授業コード： 21110

英文科目名称： Seminar of English Linguistics I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2	4	選択必修
担当教員			
北山 長貴			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語音声学、形態論、統語論について知識を深めることをテーマとします。</li> <li>・複雑な英文の構造を把握しその内容を理解する力をつけることを到達目標とします。</li> </ul>		
授業計画	第1回		
	タイトル	はじめに	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Language Helps Everybody (P. 35～37)	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	Language Helps Everybody (P. 38～40)	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	Language Helps Everybody (P. 40～42)	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	Language Helps Everybody (P. 43) ・ How Language Grows (P. 44～45)	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	How Language Grows (P. 46～48)	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	How Language Grows (P. 49～51)	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	How Language Grows (P. 52～54)	
	フリー欄		
第9回			
タイトル	Languages Come in Families (P. 54～55)		
フリー欄			
第10回			
タイトル	Languages Come in Families (P. 56～58)		
フリー欄			
第11回			
タイトル	Languages Come in Families (P. 59～61)		
フリー欄			
第12回			
タイトル	The Languages of Europe (P. 62～64)		
フリー欄			

第13回	
タイトル	The Languages of Europe (P. 65～67)
フリー欄	
第14回	
タイトル	Languages of Europe (P. 68～70)
フリー欄	
第15回	
タイトル	Languages of Europe (P. 71～73)
フリー欄	
第16回	
タイトル	Languages of Europe (P. 74～76)
フリー欄	
第17回	
タイトル	Languages of Europe (P. 77～79)
フリー欄	
第18回	
タイトル	One Language for Everybody? (P. 80～82)
フリー欄	
第19回	
タイトル	One Language for Everybody? (P. 83～85)
フリー欄	
第20回	
タイトル	One Language for Everybody (P. 86～88)
フリー欄	
第21回	
タイトル	One Language for Everybody (P. 89～91)
フリー欄	
第22回	
タイトル	英語構文理解（1）五文型について
フリー欄	
第23回	
タイトル	英語構文理解（2）代名詞の示す語句について
フリー欄	
第24回	
タイトル	英語構文理解（3）関係代名詞と前置詞について
フリー欄	
第25回	
タイトル	英語構文理解（4）並列の表現について
フリー欄	
第26回	
タイトル	英語構文理解（5）文頭の前置詞句について
フリー欄	
第27回	
タイトル	英語構文理解（6）分詞構文の付帯状況について
フリー欄	
第28回	
タイトル	英語構文理解（7）相関語句について
フリー欄	
第29回	

	タイトル	英語構文理解（８）倒置について
	フリー欄	
	第30回	
	タイトル	英語構文理解（９）句から文への変換について
	フリー欄	
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語学基礎演習Ⅰの続きとなります。継続受講者でなくても理解できる内容です。</li> <li>・具体的には音声学（発音）と形態論（単語）について勉強します。</li> <li>・また、英語の語法や歴史的背景も学びます。</li> <li>・特に英語の「親戚」であるヨーロッパ（インド・ヨーロッパ語族）の言語にも少し触れます。</li> <li>・毎回、1人1行ごとの輪読をして、英語を正確に理解する練習をします。</li> </ul>	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・翌週の学習内容のテキストのページを指定するので、その該当箇所を予め読み、理解してきて下さい。</li> <li>・授業中にわからなかった語句の意味を調べて下さい。</li> </ul>	
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“All About Language” by Mario Pei.（成美堂）1,200円（本体価格）</li> <li>・新規受講者は初回の授業時に購入方法を説明します。</li> </ul>	
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストをよく読み、何がポイントかを把握して簡潔に説明する練習です。</li> <li>・学生の興味を引くように身近な事例を多く取り入れながら講義を進めます。</li> <li>・授業で伝えたいことや修得して欲しいことを明確に伝えます。</li> </ul>	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への参加度（50%）、レポート課題（50%）</li> </ul>	
参考文献		
備考		

講義科目名称： 英語学演習Ⅱ（21120）

授業コード： 21120

英文科目名称： 一

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2	4	選択必修
担当教員			
松井 真人			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	英語で書かれた社会言語学のテキストを読み、言語と社会の関わりを理解するとともに、英語読解力の向上を目指す。具には「言語と社会階級」「言語と民族」「言語と性」「言語とコンテキスト」「言語と社会的相互行為」「言語と国家」「言語と地理」「言語と接触」「言語と人権」など社会言語学の様々なトピックについて学ぶ。		
授業計画	第1回		
	タイトル	Sociolinguistics—Language and Society（社会言語学とはどのような言語学か）	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Sociolinguistics—Language and Society（変種）	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	Sociolinguistics—Language and Society（言語と認識）	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	Language and Social Class（社会階級と言語変異）	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	Language and Social Class（イギリスの事例）	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	Language and Social Class（アメリカの事例）	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	Language and Ethnic Group（言語と民族の関係）	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	Language and Ethnic Group（欧米の事例）	
	フリー欄		
第9回			
タイトル	Language and Ethnic Group（AAVEの特徴）		
フリー欄			
第10回			
タイトル	Language and Sex（言語における性差）		
フリー欄			
第11回			
タイトル	Language and Sex（英語における性差）		
フリー欄			
第12回			
タイトル	Language and Sex（潜在的権威）		

フリー欄	
第13回	
タイトル	Language and Context (場面とスタイル)
フリー欄	
第14回	
タイトル	Language and Context (呼称)
フリー欄	
第15回	
タイトル	Language and Context (ダイグロシア)
フリー欄	
第16回	
タイトル	Language and Social Interaction (言語の切り替え)
フリー欄	
第17回	
タイトル	Language and Social Interaction (会話の規則)
フリー欄	
第18回	
タイトル	Language and Social Interaction (ことばの民族誌)
フリー欄	
第19回	
タイトル	Language and Nation (少数民族と二言語使用)
フリー欄	
第20回	
タイトル	Language and Nation (少数民族の言語と学校教育)
フリー欄	
第21回	
タイトル	Language and Nation (言語計画)
フリー欄	
第22回	
タイトル	Language and Geography (イギリスとアメリカの地理的方言)
フリー欄	
第23回	
タイトル	Language and Geography (方言の混合)
フリー欄	
第24回	
タイトル	Language and Geography (言語圏)
フリー欄	
第25回	
タイトル	Language and Contact (ピジン)
フリー欄	
第26回	
タイトル	Language and Contact (クレオール)
フリー欄	
第27回	
タイトル	Language and Contact (ポストクレオール)
フリー欄	
第28回	
タイトル	Language and Humanity (性差別的表現)
フリー欄	

	第29回
	タイトル Language and Humanity (言語の死と方言の死)
	フリー欄
	第30回
	タイトル Language and Humanity (二方言併用主義と方言差の尊重)
	フリー欄
授業概要	毎回、当番の受講生が英文テキストの内容の要約を発表し、担当教員が語学的な面や内容面について解説を加える。最後に全員で内容について議論する。
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	予習として、次の授業で学習する範囲の英文をよく読み、わからない語句は辞(事)典等で調べてくること。そしてテキストの内容に関する自分の意見や疑問点を明確にしておくこと。
テキスト	Peter Trudgill (著) Sociolinguistics: An Introduction to Language and Society. Forth Edition. Penguin Books. 2,005円 (税込 洋書なので購入する書店やその時々々の為替レートによって変動する)
受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)	できるだけ発言しやすい雰囲気を作りたいと思う。受講生の皆さんは授業の前にテキストをよく読み、辞(事)典等で調べてもわからない点は遠慮なく質問してほしい。
評価方法	授業への参加度30%、テキストの要約発表の充実度35%、学年末レポート35%
参考文献	授業中に適宜紹介する。
備考	

講義科目名称： 英語学入門 I (21210)

授業コード： 21210

英文科目名称： 一

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2	2	選択必修
担当教員			
松井 真人			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
開放 (教養)	高大連携開放科目※	※高校生男女が受講する場合有	授業形態：講義
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	主に認知言語学、社会言語学の視点から、英語および言語一般の特徴（特に意味とコミュニケーションの側面）を理解すること。		
授業計画	第1回		
	タイトル	オリエンテーション	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	人間のことばと動物のコミュニケーション	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	英語学の歴史と対照研究 (1) 言語学と英語学	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	英語学の歴史と対照研究 (2) 開放系言語学と生成文法	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	カテゴリー化 (1) 古典的カテゴリー論	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	カテゴリー化 (2) プロトタイプ理論	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	事態把握 一状況の捉え方と言語表現一 (1) 事態把握と言語表現	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	事態把握 一状況の捉え方と言語表現一 (2) 日本語と英語の事態把握の違い	
	フリー欄		
	第9回		
	タイトル	メタファー・メトニミー・シネクドキー (1) 概念メタファー	
	フリー欄		
	第10回		
	タイトル	メタファー・メトニミー・シネクドキー (2) メトニミーとシネクドキー	
	フリー欄		
	第11回		
	タイトル	バリエーション 一イギリス英語、アメリカ英語、そして世界の諸英語一 (1) イギリス英語とアメリカ英語	
	フリー欄		
	第12回		
	タイトル	バリエーション 一イギリス英語、アメリカ英語、そして世界の諸英語一 (2) World Englishes	

	フリー欄	
	第13回	
	タイトル	状況に応じた言語変種の選択 ―なぜことばを切り替えるのか― (1) 多言語社会における言語選択
	フリー欄	
	第14回	
	タイトル	状況に応じた言語変種の選択 ―なぜことばを切り替えるのか― (2) コード・スイッチングをする理由
	フリー欄	
	第15回	
	タイトル	全体のまとめ
	フリー欄	
授業概要	講義形式で英語および人間の言語一般の特徴について解説する。言語学の分野としては、主に意味論、認知言語学、社会言語学を扱う。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	予習として、次の授業で学習するテキストの範囲をよく読むこと。復習として、授業で配布された資料をよく読み、学習した内容の理解に努めること。	
テキスト	多々良直弘・松井真人・八木橋宏勇（著）『実例で学ぶ英語学入門―異文化コミュニケーションのための日英対照研究―』朝倉書店 3,190円（税込） ISBN: 978-4-254-51072-0	
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	受講生が英語学や言語学に対する興味を持つことができるように、多くの具体例を用いて分かりやすい解説を心がけたい。わからない点は遠慮なく質問してほしい。この授業の他に後期開講の英語学入門Ⅱを受講することによって、英語の歴史、意味、文法、コミュニケーション全般について学ぶことができるので、併せて受講することをお勧めする。（どちらを先に受講してもよいが、できるだけ英語学入門Ⅰを先に受講してほしい。）	
評価方法	授業への参加度25%、学期末試験75%	
参考文献	授業中に適宜紹介する。	
備考		

講義科目名称： 英語学入門Ⅱ (21220)

授業コード： 21220

英文科目名称： 一

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2	2	選択必修・教職必修
担当教員			
松井 真人			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
開放 (教養)			授業形態：講義
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	主に認知言語学、社会言語学、語用論の視点から、英語および言語一般の特徴（特に歴史、意味、コミュニケーションの側面）を理解すること。		
授業計画	第1回		
	タイトル	オリエンテーション	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	英語の歴史 (1) 英語の系統と古英語	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	英語の歴史 (2) 中英語と近代英語	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	文法化 (1) 文法化とは何か	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	文法化 (2) 英語と日本語における文法化の事例	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	構文 一意味を伝える言語形式一 (1) 構文と意味	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	構文 一意味を伝える言語形式一 (2) 形式が異なれば意味も異なる。形式が同じなら意味も同じ。	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	ポライトネス (1) 協調の原理と会話の公理	
	フリー欄		
第9回			
タイトル	ポライトネス (2) ブラウンとレビンソンのポライトネス理論		
フリー欄			
第10回			
タイトル	言語とコミュニケーション (1) 文化とコミュニケーションスタイル		
フリー欄			
第11回			
タイトル	言語とコミュニケーション (2) 高コンテキスト文化と低コンテキスト文化		
フリー欄			
第12回			
タイトル	言語とコミュニケーション (3) 日本語と英語の好まれる言語表現		
フリー欄			

	第13回
	タイトル メンタルコーパス—母語話者がもつ言語知識— (1) 用法基盤モデル
	フリー欄
	第14回
	タイトル メンタルコーパス—母語話者がもつ言語知識— (2) 母語話者には分かる自然な言いまわし
	フリー欄
	第15回
	タイトル 全体のまとめ
	フリー欄
授業概要	講義形式で英語および人間の言語一般の特徴について解説する。言語学の分野としては、主に英語史、意味論、認知言語学、社会言語学、語用論を扱う。
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	予習として、次の授業で学習するテキストの範囲をよく読むこと。復習として、授業で配布された資料をよく読み、学習した内容の理解に努めること。
テキスト	多々良直弘・松井真人・八木橋宏勇 (著) 『実例で学ぶ英語学入門—異文化コミュニケーションのための日英対照研究—』朝倉書店 3,190 (税込) ISBN: 978-4-254-51072-0
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	受講生が英語学や言語学に対する興味を持つことができるように、多くの具体例を用いて分かりやすい解説を心がけたい。わからない点は遠慮なく質問してほしい。この授業の他に前期開講の英語学入門Ⅰを受講することによって、英語の歴史、意味、文法、コミュニケーション全般について学ぶことができるので、併せて受講することをお勧めする。(どちらを先に受講してもよいが、できるだけ英語学入門Ⅰを先に受講してほしい。)
評価方法	授業への参加度25%、学期末試験75%
参考文献	授業中に適宜紹介する。
備考	

講義科目名称： 英語学入門Ⅲ (21230)

授業コード： 21230

英文科目名称： Introduction to English Linguistics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2	2	選択必修・教職必修
担当教員			
北山 長貴			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
開放 (教養)	高大連携開放科目※	※高校生男女が受講する場合 有	授業形態：講義
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	1. 英語の発音のしくみ (英語音声学) について理解できるようになります。 2. 英語の語彙 (形態論) ・社会言語学・言語習得について基本概念を理解することができるようになります。		
授業計画	第1回		
	タイトル	言語学と英語学について	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	英語音声学：英語の母音について	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	英語音声学：英語の子音について	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	英語音声学：音節と強勢、イントネーションについて	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	英語音声学：音素について	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	英語音声学：同化について	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	形態論：「単語ができる仕組み」 (第10章)	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	形態論：英語の接辞 (接頭辞と接尾辞) について	
	フリー欄		
	第9回		
	タイトル	英語の語源について	
	フリー欄		
	第10回		
	タイトル	形態論：語形成について	
	フリー欄		
	第11回		
	タイトル	社会言語学：「ことばと社会」 (第23章)	
	フリー欄		
	第12回		
	タイトル	社会言語学：英語の変種について	
	フリー欄		

	第13回
	タイトル 社会言語学：ピジンとクリオールについて
	フリー欄
	第14回
	タイトル 言語習得：「日本の英語教育と教授法」 (第25章)
	フリー欄
	第15回
	タイトル 言語習得：第一言語習得について
	フリー欄
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語音声学、形態論、社会言語学、言語習得を概論します。</li> <li>・英語音声学は英語の音声のしくみである母音と子音の体系を踏まえ音の変化等も概論します。</li> <li>・形態論、社会言語学、言語習得理論については基本的な内容を概論します。</li> <li>・授業前に授業計画に記載してあるテキストの該当する章を必ず読んでおいてください。</li> <li>・学習内容を深めるためプリントを使い応用練習をします。</li> </ul>
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・翌週の学習内容の範囲を指定するので、その該当箇所を予め読み、理解しておいてください。</li> <li>・授業中にわからなかった語句の意味を調べること。</li> </ul>
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラシーン・ジョン 他『学問別 重要単語：外国語・言語学』（南雲堂） 900円（+税） ISBN 978-4-523-17817-0 【購買部のさわらびで購入できます】</li> </ul>
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語学を今後も研究する学生は英語学入門ⅠとⅡを受講することが望ましい。</li> <li>・教職を希望する学生は1年生で受講することが望ましい。</li> </ul>
評価方法	出席25%、小テスト25%、試験 50%
参考文献	
備考	

講義科目名称： 英語学講読 (21240)

授業コード： 21240

英文科目名称： Reading of English Linguistics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択必修
担当教員			
北山 長貴			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：講義
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語学を研究するために必要な基本的分野を理解することをテーマとします。</li> <li>・多くの英文を一度に読み、専門的な英文内容を的確に把握できることを目標とします。</li> </ul>		
授業計画	第1回		
	タイトル	Introduction	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	2章 Semantic Properties	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	3章 Ambiguity	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	4章 Metaphor and Poem	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	5章 Semantic Change	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	6章 Stylistics	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	7章 Speech and Writing	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	8章 Speech Acts and Pragmatics	
	フリー欄		
	第9回		
	タイトル	9章 Aspects of Dialect	
	フリー欄		
第10回			
タイトル	10章 Language and Sexism		
フリー欄			
第11回			
タイトル	11章 New Word Formation		
フリー欄			
第12回			
タイトル	12章 Child Language Acquisition		
フリー欄			
第13回			

	タイトル	13章 Animals' Language Capacity
	フリー欄	
	第14回	
	タイトル	1章 What Is Language? (P. 6～10)
	フリー欄	
	第15回	
	タイトル	1章 What Is Language? (P. 11～15)
	フリー欄	
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語学を今後も研究したい学生向けの授業です。</li> <li>・英語で書かれたテキストを精読して英語学の基本事項を学びます。</li> <li>・1回の授業で1ユニットを輪読します。</li> <li>・プリント等を使い内容理解を深めるようにします。</li> </ul>	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門用語等の分からない言葉を辞書や関連図書を使用して事前に調べておいてください。</li> <li>・翌週の学習内容の範囲を指定するので、その該当箇所を予め読み、理解してきて下さい。</li> <li>・授業中にわからなかった語句の意味を調べて下さい。</li> </ul>	
テキスト	“Language as Human Essence” by Victoria A. Fromkin 三修社 (1500円) (本体価格) 【購入方法は初回授業で指示します。】	
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習をしての出席が前提の授業です。</li> <li>・専門的な内容が含まれていますが、なるべく理解しやすいように説明します。</li> <li>・学生が興味を引くように身近な事例を多く取り入れながら講義を進めます。</li> <li>・授業で伝えたいことや修得して欲しいことを明確に伝えます。</li> </ul>	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への参加度 (出席) (50%)、レポート提出 (50%)</li> </ul>	
参考文献		
備考		

講義科目名称： 英米文化論 (21320)

授業コード： 21320

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2	2	選択
担当教員			
小林 亜希			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
開放 (教養)	高大連携開放科目※	※高校生男女が受講する場合有	授業形態：講義
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	1. 英語が使われている国・地域の歴史・社会・文化について基本的な内容を理解し、記述できる。 2. 英米文化を学ぶ上で重要な概念についての理解を深め、記述できる。 3. 様々な文化表象を手がかりに、英語圏の文化を読み解く方法を学び、自分の意見を記述できる。		
授業計画	第1回		
	タイトル	ガイダンスー「文化」とは何か	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	「英語」はなぜ世界語になったのか	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	キリスト教 (1) ユダヤ教から宗教改革まで	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	キリスト教 (2) イギリス/アメリカのキリスト教	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	民主主義 / 「個人」の誕生	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	資本主義	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	国民国家 / 植民地主義	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	絵画と建築ー英国の風景画と庭	
	フリー欄		
第9回			
タイトル	〈人種〉の表象 (1)ー社会ダーウィニズム、優生学		
フリー欄			
第10回			
タイトル	〈人種〉の表象 (2)ー人種差別の歴史		
フリー欄			
第11回			
タイトル	音楽ー大衆音楽と公民権運動 (1)ー公民権運動の歩み		
フリー欄			
第12回			
タイトル	音楽ー大衆音楽と公民権運動 (2)ーポピュラー・ミュージックの歴史		
フリー欄			

	第13回
	タイトル 映画 (1) 『ラスト・クリスマス』 (2019) の鑑賞と分析：クリスマスの精神
	フリー欄
	第14回
	タイトル 映画 (2) 『ラスト・クリスマス』 (2019) の鑑賞と分析：イギリスにおける移民／難民の表象
	フリー欄
	第15回
	タイトル 授業全体のまとめレポートの書き方について
	フリー欄
授業概要	前半 (第1回～第7回) は、英米文化を読み解くためのキーワード (基本概念) を中心に考察し、後半 (第8回～第15回) は、絵画、音楽、建築、映画等の具体的な表象を分析しながら、イギリスとアメリカの文化の構造を読み解いていきます。また、毎回リアクション・ペーパーを利用し、授業の質問に答えます。
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	授業で扱うキーワード (基本概念) を辞書やインターネットを活用して調べておくこと。
テキスト	参考資料を適宜配布します。
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料配布等のためにTeamsを利用することがあります。Office365のアカウントでTeamsにログインし、チーム「英米文化論」に参加してください。</li> <li>質問はリアクション・ペーパーでも対応しますが、個別に質問したいときはTeamsもしくはkobayashi-a@yone.ac.jpまで問い合わせてください。</li> <li>受講生の関心を引くように、身近な事例を取り入れながら講義を進めていきたいと思えます。</li> <li>扱うキーワードを辞書やインターネットで調べてから授業に臨むと理解が深まります。</li> <li>受講生の理解・関心に応じて、進度・内容は変わることがあります。</li> </ul>
評価方法	レポート (100%)。授業回数の3分の2以上の出席が条件です。
参考文献	参考書を適宜紹介します。
備考	

講義科目名称： 西洋史 (21330)

授業コード： 21330

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2	2	選択
担当教員			
鍵和田 賢			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：講義
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>1. 近世ヨーロッパと世界との関わりの歴史を学ぶことを通して、「世界の一体化」がどのように始まり、進化したのかを理解することができる。</p> <p>2. 近世の「世界の一体化」が、その後のヨーロッパおよび世界の歴史に与えた影響と、それと現代世界の諸問題との関わりについて、講義内容を踏まえた上で、自分自身の考えを表現することができる。</p>
--------------	---

授業計画	第1回	
	タイトル	ガイダンスー「グローバル化」とヨーロッパ近世
	フリー欄	
	第2回	
	タイトル	「世界の一体化」の始まりー大交易時代と大航海時代
	フリー欄	
	第3回	
	タイトル	諸文明の遭遇と衝突（1）ーラテンアメリカの植民地化
	フリー欄	
	第4回	
	タイトル	諸文明の遭遇と衝突（2）ー原住民の奴隷化をめぐる論争
	フリー欄	
	第5回	
	タイトル	諸文明の遭遇と衝突（3）ーキリスト教の世界宣教
	フリー欄	
	第6回	
	タイトル	「一体化」に伴う生活世界の激変（1）ーヨーロッパの商業革命・生活革命
	フリー欄	
第7回		
タイトル	「一体化」に伴う生活世界の激変（2）ー新世界の生態系の激変	
フリー欄		
第8回		
タイトル	越境する個人（1）ー捕虜	
フリー欄		
第9回		
タイトル	越境する個人（2）ー奴隷	
フリー欄		

	第10回
	タイトル 越境する個人（3）—海賊
	フリー欄
	第11回
	タイトル 越境する個人（4）—混血者
	フリー欄
	第12回
	タイトル 環大西洋革命の諸相（1）—産業革命
	フリー欄
	第13回
	タイトル 環大西洋革命の諸相（2）—アメリカ独立革命
	フリー欄
	第14回
	タイトル 環大西洋革命の諸相（3）—フランス革命
	フリー欄
	第15回
	タイトル まとめ
	フリー欄
授業概要	<p>本講義は、ヨーロッパ近世（15～18世紀）の歴史を、「世界の一体化」をテーマとして学ぶ。近世という時代は、それまで交流があまりなかった世界の諸地域が結びつき、交流・衝突を経つつ「一体化」していった。</p> <p>本講義は、近世の「世界の一体化」に伴う社会の激変を学ぶことを通じて、「グローバル化」が進展する現代世界を、より深く、自分事として考える視野を養うことを目指す。</p>
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	配布された講義資料を読み返し復習するとともに、近代以前の日本と世界の接触や交流を取り上げたテレビ番組や新聞記事に積極的に目を通すこと。
テキスト	講義中にプリントを配布する。
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	講義内容の理解を助け、自主学習にも利用できる参考資料を用意したい。
評価方法	授業ごとのコメントペーパー（50%）、期末の理解度確認調査（50%）
参考文献	
備考	

講義科目名称： 日本文化論 (21340)

授業コード： 21340

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2	2	選択
担当教員			
阿部 哲人			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
開放 (教養)			授業形態：講義
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米沢にある文化財について理解する</li> <li>・それらにみられる日本文化の要素・特徴、また成立の過程を理解する</li> <li>・それらが現代に与えている影響について理解する</li> </ul>		
授業計画	第1回		
	タイトル	ガイダンス	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	上杉本洛中洛外図屏風とは	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	洛中洛外図屏風の展開	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	狩野派とは	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	狩野派の展開	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	日本人と四季	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	やまと絵の歴史 (古代)	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	やまと絵の歴史 (中世)	
	フリー欄		
	第9回		
	タイトル	漢画の展開	
	フリー欄		
	第10回		
	タイトル	洛中洛外図屏風とやまと絵	
	フリー欄		
	第11回		
	タイトル	上杉本洛中洛外図屏風のテーマ (1980年代までの理解)	
	フリー欄		
	第12回		
	タイトル	上杉本洛中洛外図屏風のテーマ (1980年代以降の理解)	
	フリー欄		

	第13回
	タイトル 上杉本洛中洛外図屏風のテーマ（通説と批判）
	フリー欄
	第14回
	タイトル 上杉本洛中洛外図屏風研究の今後
	フリー欄
	第15回
	タイトル まとめ
	フリー欄
授業概要	米沢にある文化財や身近な出来事などをふまえ、歴史的に遡って文化についてみていきます。
実務経験及び授業の内容	米沢市上杉博物館で学芸員をしています。上杉博物館で所蔵している代表的な資料、国宝を通じて日本文化の特徴を捉え、現代への影響や関係などについて考えていきます。
時間外学習	博物館の展示を見たり、興味を持った文献などを読んでみて下さい。
テキスト	特にありません。講義では板書します。必要に応じてプリントなどを配布。
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	自分たちの生活のあり方はさまざまな要素から成り立っています。その一つが歴史です。歴史が我々の生活の与えている影響とは何か、ということを生活の中で意識してみてほしいと思います。
評価方法	期末の論述試験
参考文献	必要に応じて講義で示します。
備考	

講義科目名称： 異文化理解 (21351)

授業コード： 21351

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2	2	選択・教職必修
担当教員			
阿部 隆夫			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
開放 (教養)			授業形態：講義
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	This course will give students the opportunity to share their opinions and experiences. We will read about things that influence our culture and communication but more importantly, you will be expected to contribute to pair and group work.		
授業計画	第1回		
	タイトル	Understanding Worldview	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Bothering and Duty (in the Light of Non-Japanese Culture)	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	(Cultural Ideas about) Food	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	Family	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	Apology or Social Lubricant?	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	Japanese Baseball and American Baseball	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	Social media (& Guest Speakers)	
	フリー欄	online interview with guest speakers (via Zoom or MS Teams)	
	第8回		
	タイトル	Anime beyond Japan	
	フリー欄		
第9回			
タイトル	Japanese importation of foreign holidays and events		
フリー欄			
第10回			
タイトル	Schooling System		
フリー欄			
第11回			
タイトル	Healthcare System		
フリー欄			
第12回			
タイトル	Attitudes towards Nature		
フリー欄			

	第13回
	タイトル What is 'Father'?
	フリー欄
	第14回
	タイトル Religion and Non-Religion
	フリー欄
	第15回
	タイトル Thought Patterns and Human Behaviour
	フリー欄
授業概要	There will be reading sections in each class which will be done in pairs or groups. This will be followed by discussions or other communication exercises. Your English skills will improve as you contribute but an openness to each others' ideas will help you discover more about your classmates and yourself.
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	1. preparatory reading; 2. semi-weekly reports; 3. fieldwork (interview with international guests)
テキスト	Anne Crescini & Makoto Abe, Language, Culture, and World View, Bridging Japan and America (Kinseido, 2025; ISBN 978-4-7647-4228-4); 『42の事例から考える異文化間英語コミュニケーション』 (開拓社, 2020; ISBN 978-4-7589-1213-6)
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	Before you begin this course, you will have certain ideas about your own culture and even other cultures. I hope you will enjoy learning about what shapes our cultures and that you will feel you have a slightly deeper understanding of your own identity and that of others.
評価方法	Semi-weekly reports in (40%) and the final examination (60%), all of which can be written in Japanese, will be taken into account to grade this course.
参考文献	
備考	

講義科目名称： 異文化コミュニケーション (21370)

授業コード： 21370

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2	2	選択
担当教員			
阿部 隆夫			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
開放 (教養)	高大連携開放科目※	※高校生男女が受講する場合有	授業形態：講義
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	国際化の中で必要な柔軟な異文化間のコミュニケーション能力育成を主題とする。目標は、異文化間コミュニケーションの現状と課題を理解させること、文化の多様性と異文化交流の意義について体験として理解させること、世界で英語が使われている地方の歴史、社会、文化の基本を把握させることにある。		
授業計画	第1回		
	タイトル	異文化間コミュニケーション論の誕生	
	フリー欄	また、並行して隔週で、副教材の事例1から事例15までを考察する。『納得の異文化間コミュニケーション』 (以下『異文化』と略記) 事例1	
	第2回		
	タイトル	異文化間コミュニケーション論の可能性	
	フリー欄	『沈黙の言葉』2&5章 異文化、事例2	
	第3回		
	タイトル	基本概念の説明と応用 (文化とは)	
	フリー欄	異文化、事例3	
	第4回		
	タイトル	基本概念の説明と応用 (常識とは)	
	フリー欄	異文化、事例4	
	第5回		
	タイトル	基本概念の説明と応用 (コミュニケーションの時間とは)	
	フリー欄	『沈黙の言葉』1&9章 『ケースで学ぶ異文化コミュニケーション』 (以下、『ケース』と略記) 1章	
	第6回		
	タイトル	基本概念の説明と応用 (コミュニケーション空間とは)	
	フリー欄	『沈黙の言葉』10章 異文化、事例5	
	第7回		
	タイトル	基本概念の説明と応用 (学習の形態差とは)	
	フリー欄	『沈黙の言葉』4章 『ケース』2章	
	第8回		
タイトル	基本概念の説明と応用 (認識の形態差とは)		
フリー欄	異文化、事例7		
第9回			
タイトル	基本概念の説明と応用 (コミュニケーションの形態とは)		
フリー欄	『ケース』3&4章		
第10回			
タイトル	近代ヨーロッパ人の航海活動に伴う異文化交流の歴史		
フリー欄	異文化、事例8		
第11回			
タイトル	近代ヨーロッパ人の航海活動に伴う異文化・異民族間問題		
フリー欄	『ケース』5&6章		

	第12回
	タイトル 北アメリカの毛皮交易をめぐるヨーロッパ系住民と先住民の現代までの交流
	フリー欄 異文化、事例9
	第13回
	タイトル カナダでの対先住民政策の比較例として日本社会のアイヌ民族待遇を考える
	フリー欄 『ケース』7&8章
	第14回
	タイトル アフリカの民族紛争に関わる異文化間の問題
	フリー欄 異文化、事例10
	第15回
	タイトル 国際化する日本社会での異文化間コミュニケーションの事例
	フリー欄 『ケース』9章
授業概要	異文化間コミュニケーション論の誕生から現在まで発達した理論と応用例の説明、身近な異文化間の事例や世界で起こっている異文化間問題に対するこの理論の応用
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	隔週で授業内容に則した課題が出されるので専用の用紙に記載の上提出してほしい。
テキスト	エドワード・T・ホール著「沈黙のことば」（南雲堂1966年）、阿部隆夫・他著『42の事例から考える異文化間英語コミュニケーション』（開拓社、2020年）
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	基礎理論を着実に理解させた後の期間後半になってから事例研究を行う。各自で関心があるレポートの題目を平素から搜して用意することを期待する。
評価方法	提出課題（40％）と試験（60％）
参考文献	『ケースで学ぶ異文化コミュニケーション』（有斐閣2007年）
備考	

講義科目名称： 異文化理解基礎演習 (21380)

授業コード： 21380

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択必修
担当教員			
畑田 秀将			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>欧米の政治・社会について多角的観点から考察し、発表やディスカッションを通して意見の違いを共に認識する。</p> <p>1 欧米の政治・社会について理解し、現代の諸問題と関連させて自身の見解を述べることができる。</p> <p>2 テーマに応じた資料をまとめ、発表を通して自分の意見を分かりやすく伝えることができる。</p> <p>3 他者と自身との見解の相違を認識し、意見や疑問点を他者へ伝えることができる。</p>																																																																										
授業計画	<p>第1回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">ゼミの流れとグループ分け</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第2回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">レジュメの作り方、資料の共有・管理方法</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第3回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">ベトナム戦争とアメリカ社会（グループAの発表）</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第4回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">ベトナム戦争とアメリカ社会（グループBの発表）</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第5回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">ベトナム戦争とアメリカ社会（VTRと解説）</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第6回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">ベトナム戦争とアメリカ社会（ディスカッション）</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第7回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">民族紛争と難民問題（グループA発表）</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第8回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">民族紛争と難民問題（グループB発表）</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第9回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">民族紛争と難民問題（VTRと解説）</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第10回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">民族紛争と難民問題（ディスカッション）</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第11回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">冷戦（グループA発表）</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>第12回</p> <table border="1"> <tr> <td>タイトル</td> <td colspan="2">冷戦（グループB発表）</td> </tr> <tr> <td>フリー欄</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>			タイトル	ゼミの流れとグループ分け		フリー欄			タイトル	レジュメの作り方、資料の共有・管理方法		フリー欄			タイトル	ベトナム戦争とアメリカ社会（グループAの発表）		フリー欄			タイトル	ベトナム戦争とアメリカ社会（グループBの発表）		フリー欄			タイトル	ベトナム戦争とアメリカ社会（VTRと解説）		フリー欄			タイトル	ベトナム戦争とアメリカ社会（ディスカッション）		フリー欄			タイトル	民族紛争と難民問題（グループA発表）		フリー欄			タイトル	民族紛争と難民問題（グループB発表）		フリー欄			タイトル	民族紛争と難民問題（VTRと解説）		フリー欄			タイトル	民族紛争と難民問題（ディスカッション）		フリー欄			タイトル	冷戦（グループA発表）		フリー欄			タイトル	冷戦（グループB発表）		フリー欄		
タイトル	ゼミの流れとグループ分け																																																																										
フリー欄																																																																											
タイトル	レジュメの作り方、資料の共有・管理方法																																																																										
フリー欄																																																																											
タイトル	ベトナム戦争とアメリカ社会（グループAの発表）																																																																										
フリー欄																																																																											
タイトル	ベトナム戦争とアメリカ社会（グループBの発表）																																																																										
フリー欄																																																																											
タイトル	ベトナム戦争とアメリカ社会（VTRと解説）																																																																										
フリー欄																																																																											
タイトル	ベトナム戦争とアメリカ社会（ディスカッション）																																																																										
フリー欄																																																																											
タイトル	民族紛争と難民問題（グループA発表）																																																																										
フリー欄																																																																											
タイトル	民族紛争と難民問題（グループB発表）																																																																										
フリー欄																																																																											
タイトル	民族紛争と難民問題（VTRと解説）																																																																										
フリー欄																																																																											
タイトル	民族紛争と難民問題（ディスカッション）																																																																										
フリー欄																																																																											
タイトル	冷戦（グループA発表）																																																																										
フリー欄																																																																											
タイトル	冷戦（グループB発表）																																																																										
フリー欄																																																																											

	フリー欄	
	第13回	
	タイトル	冷戦（VTRと解説）
	フリー欄	
	第14回	
	タイトル	冷戦（ディスカッション）
	フリー欄	
	第15回	
	タイトル	総括
	フリー欄	
授業概要	各国の政治・社会について、イデオロギー対立や民族紛争を例に歴史的文化的背景を探る。発表者はレジюмеを基に報告し、発表者以外は、各々が調べてきた内容を基に意見や質問する。VTRで知識の補完をしながら最後にディスカッションする。これを3クール行う。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	予習 発表者は、図書館資料を用いてレジюмеやプレゼン資料を作成し、配布物を準備しておく。その他の者も質疑・討論できるよう図書館などで予備的知識をつけた上で授業に臨むこと。 復習 発表者の資料を参考に、図書館等で関連する学術書・資料の探索と熟読を毎回2時間程度行う。	
テキスト		
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	質疑応答の時間に発表者に質問が投げかけられるよう発表者以外の者も毎回下調べをしておくこと。ゼミ生の迷惑になるので発表者は絶対に休まない。インプットとアウトプットを繰り返し行う場として本ゼミを活用し、ゼミ生が主体となる場となるよう各自、意識をもってほしい。2年のゼミ生との交流の機会も設けたい。	
評価方法	レジюме・資料作成・発表内容50%、事前調査・質疑応答など50%。レジюме作成・発表を各自3回ほど行い、指摘された点や他者のレジюме・発表・コメントから学んだ点など、初回の発表と最後の発表を比較して評価する。	
参考文献		
備考	発表の際に用いる新聞記事やレジюмеは、ゼミ生分の資料を事前に用意しておくこと。図書館での複写に1回10円～20円必要。学生印刷室でゼミ生分、印刷し持参する。	

講義科目名称： 異文化コミュニケーション基礎演習(21381)

授業コード： 21381

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択必修
担当教員			
阿部 隆夫			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	国際化の中で必要な柔軟な異文化間のコミュニケーション能力育成を主題とする。目標は、異文化間コミュニケーションの現状と課題を理解させること、文化の多様性と異文化交流の意義について体験として理解させること、世界で英語が使われている地方の歴史、社会、文化の基本を把握させることにある。		
授業計画	第1回		
	タイトル	PFC導入、ハルヤマダ導入、『英語コミ』導入、TOEIC問題集(毎回1ページ)	
	フリー欄	PFC教材紹介、DGDR教材紹介、『英語コミ』教材紹介、主教材PFCと副教材DGDR、『英語コミ』、他TOEICを毎回1ページずつ毎回の時間を三分分し、均等にアてる。 (省略語) DGDR: ハルヤマダ『喋るアメリカ人聴く日本人』 PFC: Polite Fictions in Collision 『英語コミ』：ピンときた！納得の異文化間英語コミュニケーション	
	第2回		
	タイトル		
	フリー欄	PFC、1章(英語圏の人間対等性)問題考察、『英語コミ』、事例13「家に招待される」	
	第3回		
	タイトル		
	フリー欄	PFC1章音読確認、DGDR ch. 1-1(即ち1章問題1、以下同様)自立と甘え	
	第4回		
	タイトル		
	フリー欄	DGDR Ch. 1-2, 1-3 論ず方法、自己独立性、『英語コミ』事例14「家に招待する」	
	第5回		
	タイトル		
	フリー欄	PFC 2章(親近性)問題考察、『英語コミ』事例15 単純状況コミュニケーション	
	第6回		
	タイトル		
	フリー欄	PFC2章音読、DGDR 2-4 二重否定の禁止	
	第7回		
	タイトル		
	フリー欄	DGDR2-5 neutralな人間関係、『英語コミ』事例16 複雑状況コミュニケーション	
	第8回		
タイトル			
フリー欄	PFC 3章(くつろいだ関係)問題考察、『英語コミ』事例17 謝罪の違い		
第9回			
タイトル			
フリー欄	PFC 3章音読、DGDR 3-1 呼称の比較		
第10回			
タイトル			
フリー欄	DGDR 3-2 尊敬語・謙譲語の欠如、『英語コミ』事例18 謝罪の誤解		
第11回			

	タイトル	
	フリー欄	PFC 4章（独立と共存）問題考察、『英語コミ』事例19 謝罪の転用
	第12回	
	タイトル	
	フリー欄	PFC 4章音読、DGDR 3-3挨拶の仕組み
	第13回	
	タイトル	
	フリー欄	DGDR 4-4 作り上げるか、当てはめるかの差、『英語コミ』事例20 名前で呼ぶか関係で呼ぶか
	第14回	
	タイトル	
	フリー欄	PFC 5章（個と集団の意識差）『英語コミ』事例21 「よろしくお願ひします」の文化
	第15回	
	タイトル	
	フリー欄	PFC 5章音読
授業概要	異文化間コミュニケーション論・社会言語学の洋書主教材で学ぶ時間、和書副教材で学ぶ時間、社会言語学ワークブックの時間、TOEIC（文法・読解）とTOEFLの練習時間を設ける。異文化間コミュニケーション論を駆使して英語圏の社会言語文化の理解を深める練習をする。日本で普及していない最新の言語習得方法に基づき和訳・英訳を超えて英語圏で友人ができるようなコミュニケーターを養成する訓練をする。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	毎回出される小課題を専用の用紙に記載して提出してほしい。異文化関連の専門書を二冊以上読んで学期末に書評を提出すること。	
テキスト	阿部隆夫、他著『42の事例から考える異文化間英語コミュニケーション』（開拓者2020年）[または、廉価版：タカオ・アベ『ピンときた！納得の異文化間英語コミュニケーション』（開拓社、2011）]、『公式TOEIC Listening & Reading 問題集10』（国際ビジネスコミュニケーション協会2023年）、ハルヤマダ『喋るアメリカ人聴く日本人』（成甲書房 2003年）、Nancy Sakamoto, Polite Fictions in Collision（Kinseido 2004）	
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	留学希望者は実務的な個別準備指導をする。期末課題としては、各自が言語学や英語などに関連した研究書の書評[3-5ページ]又は口頭発表のどちらかが課せられる。英語論文の添削指導も可能。	
評価方法	平常の発表課題（30%）、提出課題（50%）と小試験（20%）	
参考文献		
備考		

講義科目名称： 英語コミュニケーション基礎演習(21382)

授業コード： 21382

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択必修
担当教員			
タヴァコーリ, マーニ			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	Students will improve their English communication skills by listening to songs, watching videos, playing games, and sharing their opinions and relating their experiences.		
授業計画	タイトル	Song Listening and Reaction 1	
	フリー欄		
	タイトル	Short Video and Reaction 1	
	フリー欄		
	タイトル	Communication through Games 1	
	フリー欄		
	タイトル	Song Listening and Reaction 2	
	フリー欄		
	タイトル	Short Video and Reaction 2	
	フリー欄		
	タイトル	Communication through Games 2	
	フリー欄		
	タイトル	Song Listening and Reaction 3	
	フリー欄		
	タイトル	Short Video and Reaction 3	
	フリー欄		
	タイトル	Communication through Games 3	
	フリー欄		
	タイトル	Song Listening and Reaction 4	
	フリー欄		
	タイトル	Short Video and Reaction 4	
	フリー欄		
	タイトル	Communication through Games 4	
	フリー欄		

タイトル	Song Listening and Reaction 5
フリー欄	
タイトル	Short Video and Reaction 5
フリー欄	
タイトル	Communication through Games 5
フリー欄	
タイトル	Song Listening and Reaction 6
フリー欄	
タイトル	Short Video and Reaction 6
フリー欄	
タイトル	Communication through Games 6
フリー欄	
タイトル	Song Listening and Reaction 7
フリー欄	
タイトル	Short Video and Reaction 7
フリー欄	
タイトル	Communication through Games 8
フリー欄	
タイトル	Song Listening and Reaction 8
フリー欄	
タイトル	Short Video and Reaction 8
フリー欄	
タイトル	Communication through Games 9
フリー欄	
タイトル	Song Listening and Reaction 9
フリー欄	
タイトル	Short Video and Reaction 9
フリー欄	
タイトル	Communication through Games 10
フリー欄	
タイトル	Song Listening and Reaction 10
フリー欄	
タイトル	Short Video and Reaction 10

	フリー欄	
	タイトル	Ending Presentation
	フリー欄	
授業概要	In each class, students will do an activity together with the teacher to improve their communication skills.	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	Students will prepare translations of English and Japanese children's stories and songs.	
テキスト	There is no textbook for this class. Please bring a dictionary (smartphone as dictionary is ok) and notebook to class.	
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)		
評価方法	50% Participation, 50% Written Reports	
参考文献		
備考		

講義科目名称： 異文化理解演習 (21390)

授業コード： 21390

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2	4	選択必修
担当教員			
畑田 秀将			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	日本と欧米の政治経済・法と社会について比較・考察し、発表や討論を通して多角的視点を培う。 1 日本と欧米の政治経済・法律・社会について、時事問題と関連付けて政策や制度を説明することができる。 2 自由や人権に対する各国の政策・制度や個人的思想など背景知識を理解した上で、自身の見解を述べることができる。		
授業計画	第1回		
	タイトル	はじめに (自己紹介)	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	レジュメの作り方	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	資料の共有・管理方法	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	テーマ設定と発表	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	安楽死と尊厳死	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	尊厳死法 カリフォルニア州と日本を例に	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	安楽死導入の是非	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	リベラルとコンサバ	
	フリー欄		
	第9回		
	タイトル	最高裁判事と政府	
	フリー欄		
	第10回		
	タイトル	アメリカ社会の家族像	
	フリー欄		
	第11回		
	タイトル	日本のコンサバとリベラル	
	フリー欄		
	第12回		
	タイトル	アメリカのコンサバとリベラル	
	フリー欄		

第13回	
タイトル	日米のコンサバとリベラルの比較
フリー欄	
第14回	
タイトル	各自テーマの中間発表 1
フリー欄	
第15回	
タイトル	前半の振り返り
フリー欄	
第16回	
タイトル	各自テーマの中間発表 2
フリー欄	
第17回	
タイトル	臓器移植制度
フリー欄	
第18回	
タイトル	臓器移植の賛否
フリー欄	
第19回	
タイトル	法律とマイノリティー
フリー欄	
第20回	
タイトル	政治・法からみた多様性（議論）
フリー欄	
第21回	
タイトル	各自テーマの中間発表 3
フリー欄	
第22回	
タイトル	国家とイデオロギー
フリー欄	
第23回	
タイトル	イデオロギーと政党
フリー欄	
第24回	
タイトル	グローカリゼーション
フリー欄	
第25回	
タイトル	各自テーマの中間発表 4
フリー欄	
第26回	
タイトル	時事問題からリベラル・コンサバを考える（テーマA）
フリー欄	
第27回	
タイトル	時事問題からリベラル・コンサバを考える（テーマB）
フリー欄	
第28回	
タイトル	テーマの発表会 1
フリー欄	
第29回	

	タイトル	テーマの発表会 2
	フリー欄	
	第30回	
	タイトル	1年を通して（振り返り）
	フリー欄	
授業概要	現代の政治・社会問題についてゼミ生主体で議論し考察します。特に世論を二分化・対立している問題（例としてイデオロギー、安楽死、死刑制度など）をメインテーマに設定し、各国の政治・社会文化の比較を通して事象を多面的に捉えてもらいます。発表担当者はテーマに応じたレジュメを作成し、発表・質疑応答を経て論点を議論します。前期は指定した図書を輪読し、後期は各自、興味関心あるテーマを選びます。	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	予習 新聞のスクラップを毎週します。全員がテキストを熟読し、発表担当者はレジュメやプレゼン資料を作成する。 復習 テキストや発表者の資料を参考に、図書館で関連する学術書・関連資料の探索や熟読を行うこと。	
テキスト	山口真由『リベラルという病』新潮社、2017年。 田中拓道『リベラルとは何か 17世紀の自由主義から現代日本まで』中公公論新社、2020年。 杉田敦『政治的思考』岩波書店、2013年。 渡辺靖『<文化>を捉え直す』岩波書店、2015年。	
受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）	日常的に新聞やテレビニュースを見聞き、批判的に思考する習慣を身に付けておいてください。図書や新聞・雑誌、ネットワーク情報資源を活用し、発表や議論を通して多角的視点から物事を捉えることのできる情報リテラシーを鍛えましょう。1年生のゼミ生との交流の機会も設けます。	
評価方法	レジュメ・資料作成・発表50%、事前準備・質疑応答など50%	
参考文献		
備考	発表の際に用いる新聞記事やレジュメは、各自、ゼミ生分のコピーを事前に用意しておくこと。図書館での新聞記事の複写に1回10円～20円ほど、および印刷機ではゼミ生分の用紙を準備のこと。	

講義科目名称： 異文化コミュニケーション演習 (21391)

授業コード： 21391

英文科目名称： -

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2	4	選択必修
担当教員			
阿部 隆夫			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	国際化の中で必要な柔軟な異文化間のコミュニケーション能力育成を主題とする。目標は、異文化間コミュニケーションの現状と課題を理解させること、文化の多様性と異文化交流の意義について体験として理解させること、世界で英語が使われている地方の歴史、社会、文化の基本を把握させることにある。		
授業計画	第1回		
	タイトル		
	フリー欄	PFC 4章音読 You and I are Independent、そのほかTOEIC問題集10問ずつ (以下毎回同様)	
	第2回		
	タイトル		
	フリー欄	PFC5章People as Individuals, Mistakes p. 15	
	第3回		
	タイトル		
	フリー欄	PFC5章音読, 英語コミ No. 21 「どうぞよろしくお願ひします」	
	第4回		
	タイトル		
	フリー欄	DGDR ch. 4-3, 4-4 (即ち第4章問題3、問題4、以下同様) Business is Business, Business is Family; Mistakes p. 16	
	第5回		
	タイトル		
	フリー欄	DGDR ch. 4-5 Individual Choice, Group Ensemble	
	第6回		
	タイトル		
	フリー欄	PFC6章 Being Original ; Mistakes p. 17	
	第7回		
	タイトル		
	フリー欄	PFC6章音読, 英語コミ No. 22 「何歳ですか？お子さんは？ (1) 」	
	第8回		
	タイトル		
	フリー欄	DGDR ch. 4-6, 5-1 Team Stars, Borrowed Individuals ; Mistakes p. 18	
第9回			
タイトル			
フリー欄	DGDR ch. 5-2, 5-3 Talk about Talk / Silent Shifters		
第10回			
タイトル			
フリー欄	PFC7章 Questions, Questions! ; Mistakes p. 19		
第11回			
タイトル			
フリー欄	PFC7章音読, 英語コミ No. 23 「何歳ですか？お子さんは？ (2) 」		
第12回			
タイトル			

フリー欄	DGDR ch. 6-4, 6-5 It' s Not Our Talk, It' s an Example /You Don' t Know What You' re Talking About ; Mistakes p. 20
第13回	
タイトル	
フリー欄	DGDR ch. 7-1, 7-2 The Rhythm of Talk
第14回	
タイトル	
フリー欄	PFC8章 Answer to the _Point! ; Mistakes p. 21
第15回	
タイトル	
フリー欄	PFC8章音読, 英語コミ No. 24 「子供をしかる」
第16回	
タイトル	
フリー欄	DGDR ch. 7-3 Talking Turns; The Ball Machine of Conversation ; Mistakes p. 22
第17回	
タイトル	
フリー欄	DGDR ch. 8-4, 8-5 The Truths about Teasing, Praising and Repeating
第18回	
タイトル	
フリー欄	PFC9章Conversational Ballgames, 個別研究口頭発表1
第19回	
タイトル	
フリー欄	PFC9章音読, 英語コミ No. 25 「飲食の誘いを断る」, 個別研究口頭発表2
第20回	
タイトル	
フリー欄	DGDR ch. 8-6 Repeated and Parallel Truths, 個別研究口頭発表3
第21回	
タイトル	
フリー欄	DGDR ch. 9-1, 9-2 Role Models: Working Man, Nurturing Mother, 個別研究口頭発表4
第22回	
タイトル	
フリー欄	PFC10章Don' t Apologize!
第23回	
タイトル	
フリー欄	PFC10章音読, 英語コミ No. 26 「飲食に誘う」
第24回	
タイトル	
フリー欄	DGDR ch. 9-3 Independent American Decision Makers, 個別研究口頭発表5
第25回	
タイトル	
フリー欄	DGDR ch. 10-4, 10-5 Becoming American, Staying Japanese, 個別研究口頭発表6
第26回	
タイトル	
フリー欄	PFC11章Nobody Told Me!
第27回	
タイトル	
フリー欄	PFC11章音読, 英語コミ No. 27 「がんばって、ごくろうさま」

	第28回
	タイトル
	フリー欄 DGDR ch. 10-6 Mirrors, Mirrors, 英語コミ No. 28 「苦情を言う」
	第29回
	タイトル
	フリー欄 PFCまとめ, 英語コミ No. 29 「どれでも結構です」
	第30回
	タイトル
	フリー欄 DGDRまとめ, 英語コミ No. 30 「客に挨拶をする」
授業概要	異文化間コミュニケーション論を駆使して英語圏の社会言語文化の理解を深める練習をする。日本で普及していない最新の言語習得方法に基づいて、和訳・英訳を超えて英語圏で友人ができるような真のコミュニケーターを養成する訓練をする。主教材DGDR、副教材、他TOEIC問題集を毎回1ページずつ毎回の時間を下記内容で三等分し、均等にあてる。 (省略語) DGDR: Different Games, Different Rules PFC: Polite Fictions in Collision 『英語コミ』:ピンときた! 納得の異文化間英語コミュニケーション Mistakes:Takao Abe, Common Mistakes in English
実務経験及び授業の内容	
時間外学習	毎回小課題が出されるので専用の用紙に記載して提出してほしい。異文化に関して各自で題目を決めて平時から自習し5ページ以内のレポートを制作するか、パワーポイントでプレゼンテーションを行うこと。
テキスト	阿部隆夫、他著『42の事例から考える異文化間英語コミュニケーション』(開拓者2020年) [または、廉価版:タカオ・アベ『ピンときた! 納得の異文化間英語コミュニケーション』(開拓社, 2011)]、『TOEIC L & R公式問題集10』(IIBC 2023年)、Haru Yamada, Different Games, Different Rules (Oxford UP, 1997)、Takao Abe, Common Mistakes in English (非出版本)
受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)	
評価方法	平常の発表課題(60%)、提出課題(40%)
参考文献	
備考	

講義科目名称： 英語コミュニケーション演習(21392)

授業コード： 21392

英文科目名称： Seminar: English Communication

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2	4	選択必修
担当教員			
タヴァコーリ, マーニ			
自由表示項目 1	自由表示項目 2	自由表示項目 3	自由表示項目 4
			授業形態：演習
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	Students will improve their English communication skills by listening to songs, watching videos, playing games, and sharing their opinions and relating their experiences.		
授業計画	第1回		
	タイトル	Song Listening and Reaction 1	
	フリー欄		
	第2回		
	タイトル	Short Video and Reaction 1	
	フリー欄		
	第3回		
	タイトル	Communication through Games 1	
	フリー欄		
	第4回		
	タイトル	Song Listening and Reaction 2	
	フリー欄		
	第5回		
	タイトル	Short Video and Reaction 2	
	フリー欄		
	第6回		
	タイトル	Communication through Games 2	
	フリー欄		
	第7回		
	タイトル	Song Listening and Reaction 3	
	フリー欄		
	第8回		
	タイトル	Short Video and Reaction 3	
	フリー欄		
	第9回		
	タイトル	Communication through Games 3	
フリー欄			
第10回			
タイトル	Song Listening and Reaction 4		
フリー欄			
第11回			
タイトル	Short Video and Reaction 4		
フリー欄			
第12回			
タイトル	Communication through Games 4		
フリー欄			
第13回			

タイトル	Song Listening and Reaction 5
フリー欄	
第14回	
タイトル	Short Video and Reaction 5
フリー欄	
第15回	
タイトル	Communication through Games 5
フリー欄	
第16回	
タイトル	Song Listening and Reaction 6
フリー欄	
第17回	
タイトル	Short Video and Reaction 6
フリー欄	
第18回	
タイトル	Communication through Games 6
フリー欄	
第19回	
タイトル	Song Listening and Reaction 7
フリー欄	
第20回	
タイトル	Short Video and Reaction 7
フリー欄	
第21回	
タイトル	Communication through Games 8
フリー欄	
第22回	
タイトル	Song Listening and Reaction 8
フリー欄	
第23回	
タイトル	Short Video and Reaction 8
フリー欄	
第24回	
タイトル	Communication through Games 9
フリー欄	
第25回	
タイトル	Song Listening and Reaction 9
フリー欄	
第26回	
タイトル	Short Video and Reaction 9
フリー欄	
第27回	
タイトル	Communication through Games 10
フリー欄	
第28回	
タイトル	Song Listening and Reaction 10
フリー欄	
第29回	
タイトル	Short Video and Reaction 10

	フリー欄	
	第30回	
	タイトル	Ending Presentation
	フリー欄	
授業概要	In each class, students will do an activity together with the teacher to improve their communication skills. We will translate songs and stories. Each year the class writes an English musical play for children based on a Japanese or English folktale.	
実務経験及び授業の内容		
時間外学習	Students will be asked to prepare translations and write scripts and lyrics for the final musical play project.	
テキスト	There is no textbook for this class. Please bring a dictionary (smartphone as dictionary is ok) and notebook to class.	
受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)	This class involves a lot of group work and presentations. Don't be shy!	
評価方法	50% Participation, 50% Written Reports	
参考文献		
備考		